

株式会社神名工務店

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年9月1日～ 2024 年8月31日)



(仮称)家族葬の葵会館名古屋ホール新築工事

作成日: 2024年11月27日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11



環境経営方針

＜環境経営理念＞

私たちは「道は一つ」の信念のもと、良いことを行えば幸福になり、悪を働けば不幸になるという社是を基盤とし、お客様に安心と信頼を提供しながら社員の生活向上と環境保全を両立し、環境に優しい製品やサービスの提供や提案を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

また、事業活動を通じて資源の有効活用や環境負荷の低減を図り、地域社会と連携しながら未来につながる持続可能な社会づくりに取り組みます。

私たちはこれらを実現するために、環境経営の継続的改善を最優先課題とし、目標を持って挑戦し続けます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1．省エネルギー化に努め、二酸化炭素の排出量を抑えます。(ガソリン・軽油・電力)
- 2．建設廃棄物を低減するためのリサイクル活動を推進します。
- 3．建築物が使用される段階における省エネルギーに配慮した設計に努めます。
- 4．節水を行い、総排水量を削減します。
- 5．環境にやさしいグリーン購入を推進します。
- 6．関係する環境法規及び地元との協定を遵守します。
- 7．本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

制定日：2022年8月14日

代表取締役社長 神名大典



□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社神名工務店 代表取締役社長 神名 大典

(2) 所在地

本 社 兵庫県宍粟市山崎町三津181
 姫路支店 兵庫県姫路市東延末4丁目80
 大阪支店 大阪府大阪市北区梅田1丁目11-4-920
 (株)シンメイ建設技研 本社 兵庫県宍粟市山崎町三津181(環境活動は本社に含む)
 (株)シンメイ建設技研 姫路支店 兵庫県姫路市東延末4丁目80(環境活動は姫路支店に含む)
 (株)シンメイ建設技研 上郡支店 兵庫県赤穂郡上郡町金出地1128(環境活動は姫路支店に含む)
 世紀開発(株) 兵庫県姫路市東延末4丁目80(環境活動は姫路支店に含む)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部長 寺元 直樹 TEL: 0790-62-0501
 担当者 総務部 岡本 由美子 TEL: 0790-62-0501

(4) 事業内容

(株)神名工務店: 建築工事業及び土木工事業
 (株)シンメイ建設技研: 地質調査業、測量業、建設コンサルタント業
 世紀開発(株): 建築工事業及び土木工事業

(5) 事業の規模

売上高 2,287 百万円

		合計	本社	姫路支店	大阪支店	(株)シンメイ 建設技研 本社	(株)シンメイ 建設技研 姫路支店・ 上郡支店	世紀開発(株)
従業員	名	34	11	15	1	7	左に含む	0(兼務2)
延べ床面積	m ²	1,363	1,083	208	72	本社に含む	姫路支店に含む	姫路支店に含む

(6) 事業年度

2023年9月～2024年8月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社神名工務店

対象事業所: 本 社

姫路支店

大阪支店

(株)シンメイ建設技研 本社

(株)シンメイ建設技研 姫路支店

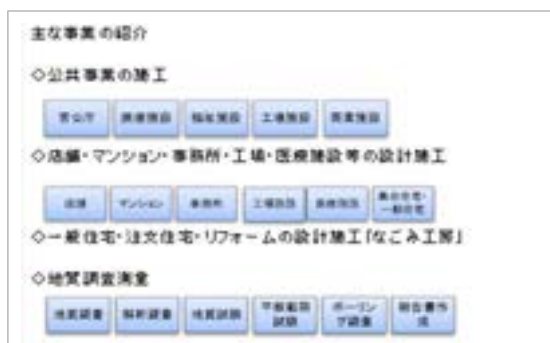
(株)シンメイ建設技研 上郡支店

世紀開発(株)

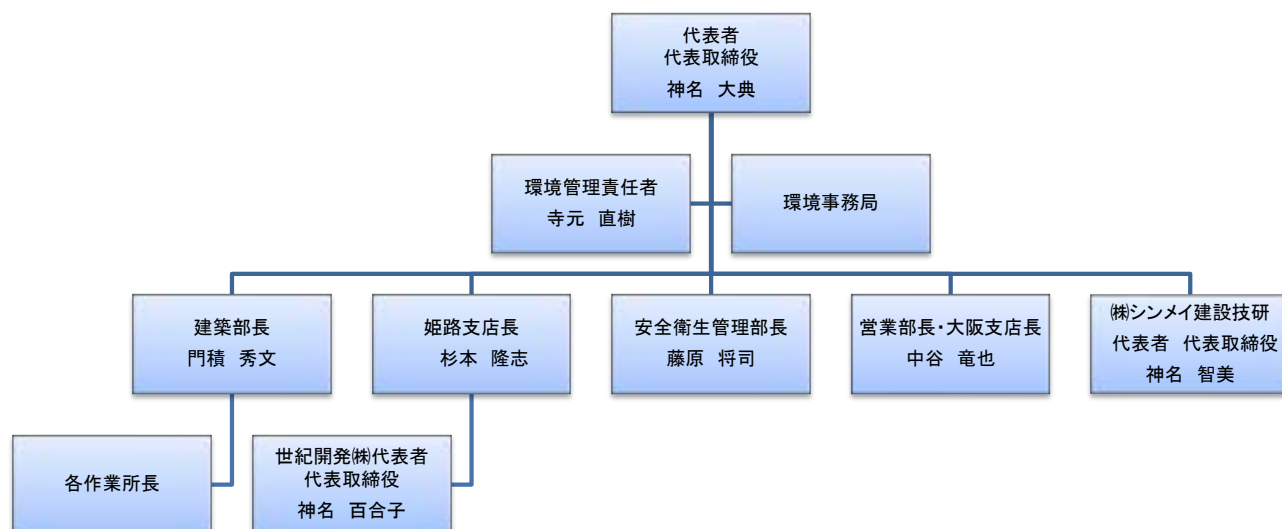
対象外: なし

活動: (株)神名工務店: 建築工事業及び土木工事業
 (株)シンメイ建設技研: 地質調査業、測量業、建設コンサルタント業
 世紀開発(株): 建築工事業及び土木工事業

□事業や製品(商品)の紹介



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



【適用範囲】

株式会社神名工務店本社、姫路支店及び建設現場

及び関連会社、株式会社シンメイ建設技研、世紀開発株式会社

注:) 株式会社シンメイ建設技研:本社内に設置されており環境活動は本社に含める。

世紀開発株式会社:姫路支店内に設置されており環境活動は姫路支店に含める。

【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者 (社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ
	②環境方針を策定し、従業員に周知させる
	③資源(人・もの・金)の用意をする
	④エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
	⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する
環境管理 責任者	①エコアクション21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる
	②上記の結果を社長に報告する
	③EA21文書類の承認をする
	④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境 事務局	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する
	②環境への負荷の自己チェックを実施する
	③環境への取組の自己チェックを実施する
	④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長 及び 全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う。
	②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する
	③自部門に関連する法規制等を順守する
	④自部門の教育・訓練を実施する
	⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする
	⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる。
	②作業所の環境目標、活動計画の達成と実績の把握を行う。ほか

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	0	138,136	146,100
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	0	227	377
産業廃棄物排出量	トン	0	101	352
総排水量	m ³	0	1,990	1,994

※二酸化炭素排出係数 0.416 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数
(令和6年11月環境省・経済産業省公表電気事業者別排出係数 関西電力0.420, エネアーク関西0.409kg-CO₂/kWh)
※ 工事現場は受注状況により変動が大きく、目標設定が困難なため、電力・水道の実績を除外しています。

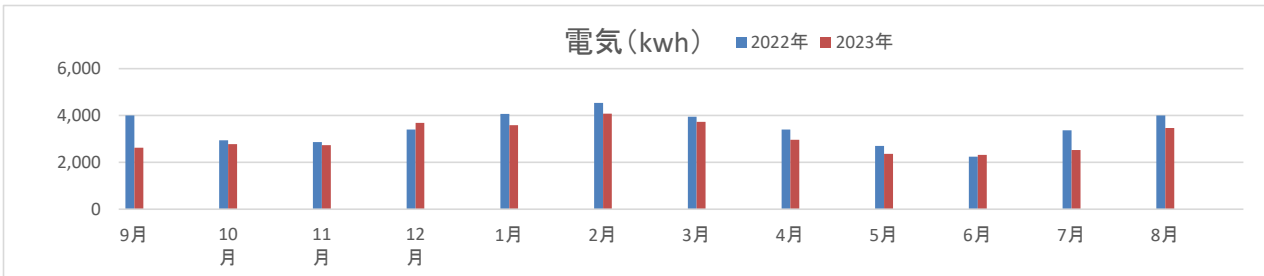
□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	17,264	16,918	15,354	○	16,573	16,401
	基準年度比	2022年	98%	89%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	82,273	80,627	113,641	×	79,805	78,982
	基準年度比	2022年	98%	138%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	99,536	97,546	128,995	×	96,378	95,382
一般廃棄物の削減	kg	385	365	377	×	358	346
	基準年度比	2022年	93%	98%		93%	90%
産業廃棄物の削減(リサイクル率)	%	55.97%	46.48%	67.39%	○	68.84%	69.96%
	基準年度比	2022年	120%	120%		123%	125%
水道水の削減	m ³	132	125	109	○	121	119
	基準年度比	2022年	95%	83%		92%	90%
次世代省エネルギー型住宅設計目標棟数	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

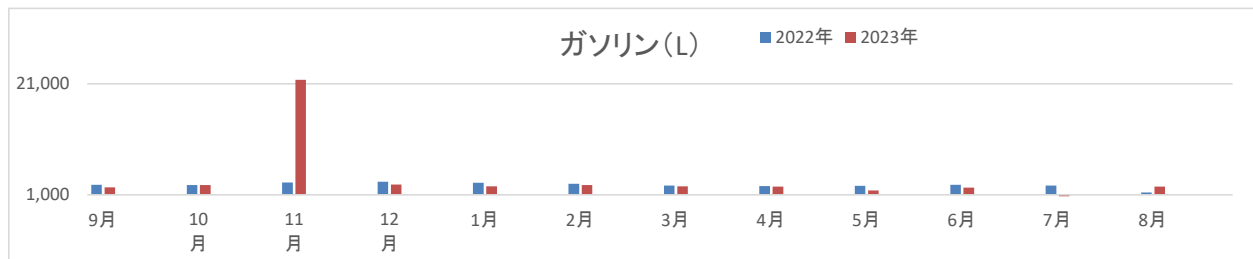
数値目標: ○達成 ×未達成
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	一部、オーバーした月もあるが、全社で順調に目標をクリアした。
・冷暖房温度を適正にする	○	
・設備点検フィルターの清掃を行う(毎月1回)	△	
・不要照明の消灯を行う	○	
・パソコンの省電力モードの活用	○	

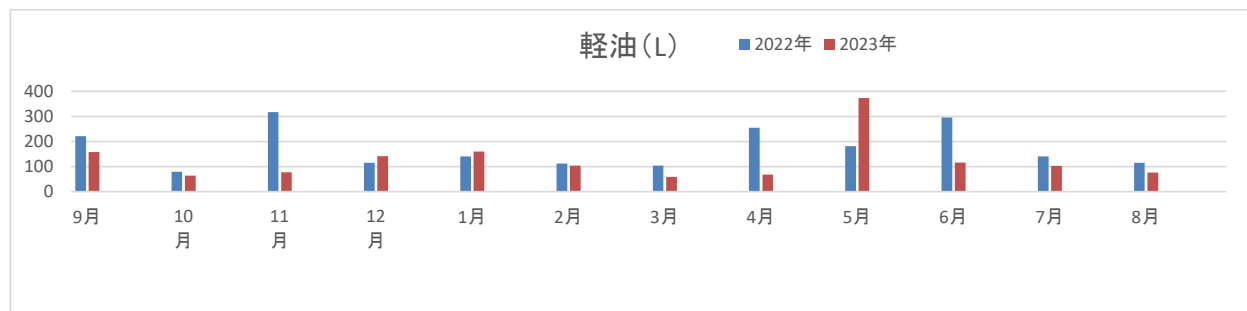


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	4,005	2,943	2,869	3,403	4,070	4,534	3,945	3,403	2,705	2,238	3,371	4,006
2023年	2,624	2,780	2,739	3,689	3,587	4,082	3,725	2,969	2,358	2,315	2,522	3,463

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	本社では目標達成したが、姫路支店から工事現場事務所への移動頻度及び移動距離が多かったため目標達成が困難であった。引き続き取組みを継続し、社内で共有していきたい。
・エコドライブの励行	○	
・アイドリングストップの励行	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	

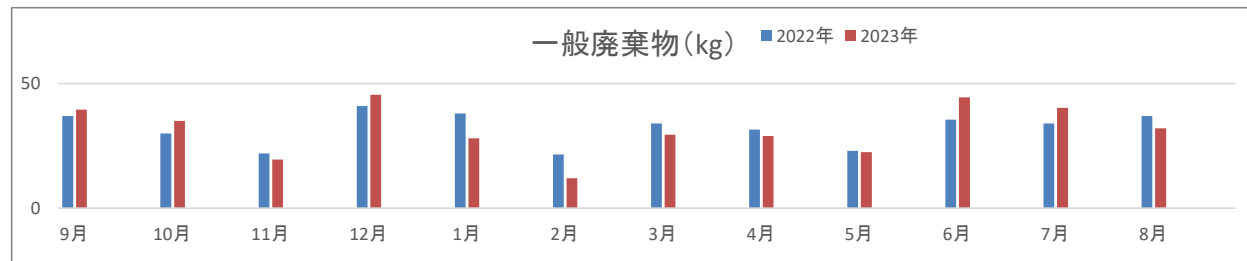


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	2,817	2,736	3,231	3,358	3,195	3,003	2,663	2,590	2,623	2,800	2,655	1,421
2023年	2,321	2,760	21,707	2,873	2,515	2,776	2,510	2,487	1,771	2,292	736	2,503



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	221	79	317	115	141	112	104	255	182	295	140	115
2023年	158	64	77	142	159	104	59	68	373	115	102	76

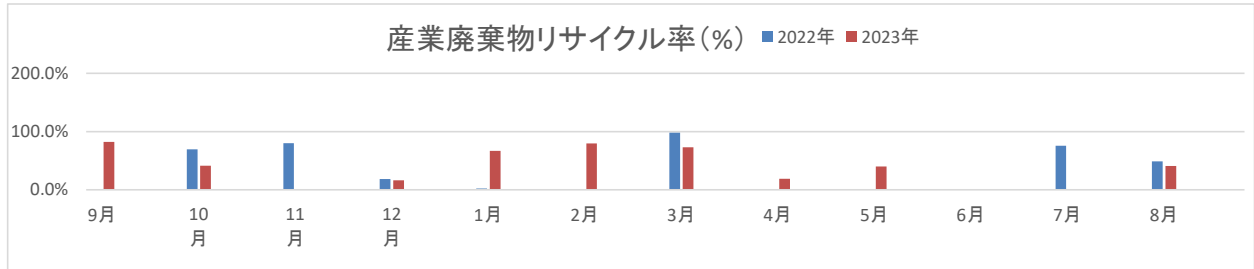
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	全体を通しては目標達成できなかったため社内にフィードバックして追加の対策を検討したい。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
・梱包材の再利用	×	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	37	30	22	41	38	22	34	32	23	36	34	37
2023年	40	35	20	46	28	12	30	29	23	45	40	32

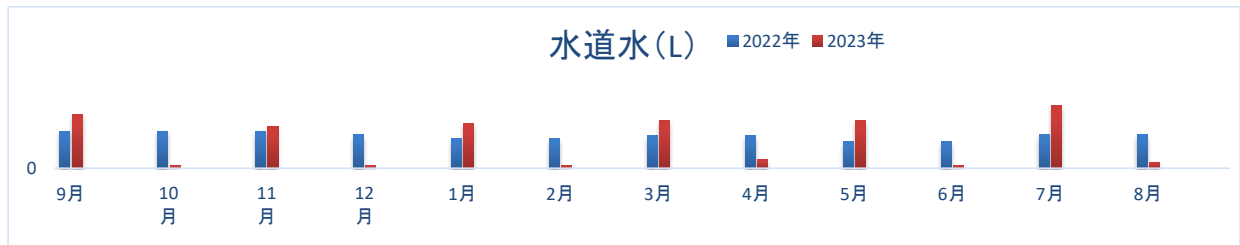
産業廃棄物の削減(リサイクル率)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	概ね目標達成できた。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	△	
・リサイクル業者の開拓	×	

リサイクル率=再生資源化産業廃棄物量(t)÷全産業廃棄物量(t)



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	0.0%	69.3%	79.9%	18.2%	2.3%	0.3%	98.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.4%	48.9%
2023年	82.1%	41.3%	0.0%	16.1%	66.8%	79.4%	73.2%	18.8%	40.1%	0.0%	0.0%	40.8%

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年間目標は達成できたが、節水シールの貼替などで周知継続していく。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・トイレの洗浄水の節水用具の活用	×	
・洗車時の節水の徹底	○	
・トイレに擬音装置取り付け	×	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	13	13	13	12	10	10	11	11	9	9	12	12
2023年	18	1	14	1	15	1	16	3	16	1	21	2

次世代省エネルギー型住宅設計目標棟数	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ホームページにて弊社次世代型省エネ住宅の利便性、優位性を知ってもらう	○	省エネ住宅の受注実績は無く、目標件数に届かなかった
・一般住宅建築目的の顧客に対しても、省エネ住宅を出来るだけお勧めする	×	
・省エネ住宅リフォームも推進する	×	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機
大気汚染防止法	建築物を解体・改造・改修する作業
労働安全衛生法（石綿規則）	吹付け石綿の除去、封じ込め又は囲い込みの作業等
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年10月23日（月）	■実施場所：本社 総務部
■参加者： 神名・藤原・寺谷・河野・山内・寺元・熊本・岡本	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 想定時間よりも早く実施できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子 出火  初期消火  消火訓練   	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2023年10月23日（月）	■実施場所：（仮称）家族葬の葬会館 名古屋山ホール新築工事現場
■参加者： 寺谷・藤原・寺元・間宮・他協力会社7名	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価： 吸着マットの使用範囲など適切に判断できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子 給油時の油流出を想定し塗料を油吸着マットで回収。対応手順を確認。  	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年9月29日

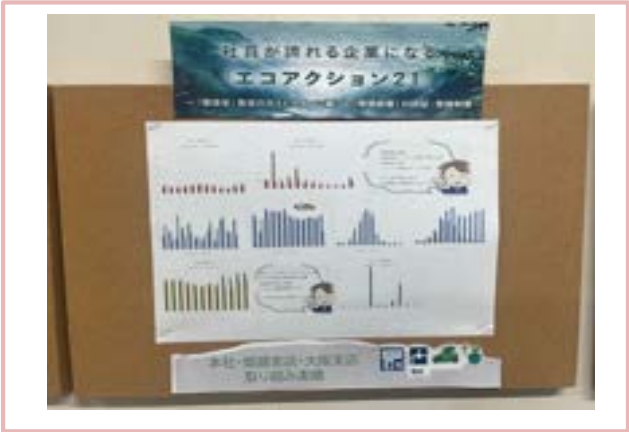
【前回の指示への取組結果】 今回初申請なので、指示事項はなかった。	
<情 報>	<見直し・指示>
◇自社を取り巻く環境問題の変化 環境意識の高まりや材料や労務費の高騰、労働力不足 環境配慮型の建築提案が求められる	◇環境方針 一年目であるため、据え置きとする
◇環境経営目標・計画の達成状況 電力以外の目標を達成できていない	◇環境経営目標・環境経営計画 取組方法、基準等をもう一度見直す
◇その他 特になし	◇実施体制他 一年目であるため、据え置きとする
2023年の目標において、「電力による二酸化炭素削減」と「水道水の削減」は達成されたものの、「自動車燃料による二酸化炭素削減」「一般廃棄物の削減」「次世代省エネルギー型住宅設計目標棟数」は未達成となりました。 全体的に一部の目標で成果を上げた点は評価できますが、未達成部分に対しては改善が必要です。 特に、自動車燃料削減は遠距離現場が多かった為の未達成ではあるが具体的な削減策の再検討を検討し、目標棟数の達成には設計プロセスや営業戦略の強化が求められます。 今後は、未達成目標への対策強化と進捗管理の徹底、従業員への取り組みの浸透を図り、次年度の目標を現実的かつ挑戦的な内容に見直します。	

環境経営方針	☒	変更なし	☐	変更あり
環境経営目標・計画	☒	変更なし	☐	変更あり
実施体制	☒	変更なし	☐	変更あり

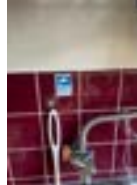
□これまでの環境活動の紹介



※事務所内掲示版



節電・節水・燃料費節約などの取り組みを前年度と比較して社内掲示し各制度の取り組みなどを周知、個々への意識付けを実施。



外断熱や計画換気システム、天然無垢素材を使用した住宅が在来工法と変わらない金額で施工できるなど、省エネ住宅=快適住宅として提案。

□編集後記

当社では今後SDGSへの取り組みも開始予定です。
問題点や課題とSDGSを関連付けながら具体的活動を明確化していくために、社内での情報共有は必須であると感じています。
活動内容を随時フィードバックし発展させたいと思います。

取組の対象組織・活動

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 神名工務店

代表取締役社長 神名 大典

(2) 所在地

本 社 兵庫県宍粟市山崎町三津181

姫路支店 兵庫県姫路市東延末4丁目80

大阪支店 大阪府大阪市北区梅田1丁目11-4-920

(株)シンメイ建設技研 本社 兵庫県宍粟市山崎町三津181(環境活動は本社に含む)

(株)シンメイ建設技研 姫路支店 兵庫県姫路市東延末4丁目80(環境活動は姫路支店に含む)

(株)シンメイ建設技研 上郡支店 兵庫県赤穂郡上郡町金出地1128(環境活動は姫路支店に含む)

世紀開発(株) 兵庫県姫路市東延末4丁目80(環境活動は姫路支店に含む)

現場 毎年現場リストを作成(別紙)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部長 寺元 直樹 TEL:0790-62-0501

担当者 総務部 岡本 由美子 TEL:0790-62-0501

(4) 事業内容

(株)神名工務店:建築工事業及び土木工事業

(株)シンメイ建設技研:地質調査業、測量業、建設コンサルタント業

世紀開発(株):建築工事業及び土木工事業

(5) 事業の規模

主要工事件数

	合計	本社	姫路支店	大阪支店	(株)シンメイ建設技研 本社	(株)シンメイ建設技研 姫路支店・上郡支店	世紀開発(株)
年間売上高(百万)	2,287	2,287	左に含む	左に含む	左に含む	左に含む	左に含む
従業員(人)	34	11	15	1	7	左に含む	0(兼務2)
延べ床面積(m ²)	1,363	1,083	208	72	本社に含む	姫路支店に含む	姫路支店に含む

(6) 事業年度

2023年9月～2024年8月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:

株式会社神名工務店

本 社

姫路支店、大阪支店

(株)シンメイ建設技研 本社・姫路支店・上郡支店

世紀開発(株)

活動:

建築工事業、土木工事業

地質調査業、測量業、建設コンサルタント業

課題とチャンスの整理

	内部	外部
課題	・電気の大量使用 ・設備老朽化 ・人手不足 ・建設現場での環境の配慮	・原材料費の上昇 ・製品のエネルギー効率が低い ・顧客の省エネ製品へのニーズ
チャンス	・省エネによる競争力向上 ・工程変更による不良削減、人員削減 ・社員の意識向上 ・地元環境への積極的対応	・省エネ製品の投入 ・新市場の開拓 ・顧客の信頼性向上

環境に関する	課題	・電気の大量使用 ・建設現場での環境の配慮 ・製品のエネルギー効率が低い ・顧客の省エネ製品へのニーズ
	チャンス	・省エネによる競争力向上 ・地元環境への積極的対応 ・省エネ製品の投入 ・社員の意識向上



環境経営方針	・省エネルギー化に努め、二酸化炭素の排出量を抑制 ・建設廃棄物を低減するためのリサイクル推進 ・建築物が使用される段階における省エネルギーに配慮した設計 ・環境にやさしいグリーン購入を推進 ・関係する環境法規及び地元との協定を遵守 ・社員及び協力会社への教育を推進
環境経営目標	・電力消費量2%削減 ・ガソリン等燃料使用量の削減（燃費の向上） ・環境を配慮したマーケティングの強化

株式会社神名工務店 環境経営方針

＜環境経営理念＞

私たちは「道は一つ」の信念のもと、良いことを行えば幸福になり、悪を働けば不幸になるという社是を基盤とし、お客様に安心と信頼を提供しながら社員の生活向上と環境保全を両立し、環境に優しい製品やサービスの提供や提案を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

また、事業活動を通じて資源の有効活用や環境負荷の低減を図り、地域社会と連携しながら未来につながる持続可能な社会づくりに取り組みます。

私たちはこれらを実現するために、環境経営の継続的改善を最優先課題とし、目標を持って挑戦し続けます。

＜環境保全への行動指針＞

- 1．省エネルギー化に努め、二酸化炭素の排出量を抑えます。（ガソリン・軽油・電力）
- 2．建設廃棄物を低減するためのリサイクル活動を推進します。
- 3．建築物が使用される段階における省エネルギーに配慮した設計に努めます。
- 4．節水を行い、総排水量を削減します。
- 5．環境にやさしいグリーン購入を推進します。
- 6．関係する環境法規及び地元との協定を遵守します。
- 7．本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

制定日：2022年8月14日

株式会社 神名工務店

代表取締役 神名 大典

□事業の規模					作成日：2023年9月1日
活動規模	単位	2021年	2022年	2023年	更新日：2024年10月1日
売上高	百万円	3,051	2,834	2,287	実施者名：寺元直樹
従業員	人	32	32	32	保管：
床面積	m ²	1,363	1,363	1,363	

□建設現場等の概要及び件数

＜工事・業務等＞

工事・業務等の名称	規模(金額)	内容・工事期間	環境配慮事項 (CO ₂ 排出予想量)	使用建機等	発注元	元請下請
プレジオ八戸ノ里 新築マンション計画	1 件	R05/03/03～R06/03/31	不明	重機等	美樹工業(株)	元請
	493 百万円					
(仮称)家族葬の英会館 名古屋山ホール新築	1 件	R05/09/12～R06/04/15	不明	重機等	株式会社英会館	元請
	415 百万円					
令和5年度 東条第一体育館耐震・長寿命化改修及び空調設備工事	1 件	R05/08/03～R06/03/25	不明	重機等	加東市	元請
	180 百万円					
令和5年度旧東条西小学校校舎棟整備工事	1 件	R05/06/28～R06/03/25	不明	重機等	加東市	元請
	257 百万円					
プレジオ長田新築工事	1 件	R06/03/20～R07/08/31	不明	重機等	美樹工業(株)	元請
	1150 百万円					
メタルリサイクルJAPAN関西支店 新築工事	1 件	R05/11/30～R06/07/31	不明	重機等	株式会社メタルリサイクルJAPAN	元請
	164 百万円					
(仮称)特別養護老人ホームくみのき苑さらさら新築工事	1 件	R05/09/15～R06/11/30	不明	重機等	栗本建設工業(株)	下請
	110 百万円					
(仮称)神戸市中央区日暮通1丁目プロジェクト	1 件	R04/06/07～R05/11/15	不明	重機等	美樹工業(株)	元請
	458 百万円					
山崎南小学校統合改修工事	1 件	R06/06/01～R07/02/28	不明	重機等	穴粟市	元請
	286 百万円					
大容量燃焼試験設備(LCT)建設工事	1 件	R06/01/05～R06/04/30	不明	重機等	(株)フジタ	下請
	60 百万円					
八千種小学校トイレ改修工事	1 件	R05/06/07～R05/10/31	不明	重機等	福崎町	元請
	75 百万円					
吉田梯三郎様邸改修工事・吉田恵様邸新築工事	1 件	R05/01/13～R05/09/30	不明	重機等	吉田梯三郎 吉田恵	元請
	70 百万円					

□環境への負荷の状況（取りまとめ表）					(自動計算)	特定した環境負荷	特定した活動
環境への負荷		単位	2021年	2022年	2023年		
アウトプット	① 温室効果ガス排出量						
	二酸化炭素排出量 合計	Kg-CO ₂		138,136	146,100		
	電力(事業所)	Kg-CO ₂		17,264	15,354	○	電力使用による二酸化炭素の発生
	電力(工事現場)			30,766	13,916		
	購入電力	kWh		43,182	36,853		
	電力の二酸化炭素排出係数(調整後)	Kg-CO ₂ /kWh		0.416	0.416		
	化石燃料	Kg-CO ₂		84,062	116,830		
	灯油	Kg-CO ₂		1,660	2,983		
	A重油	Kg-CO ₂		0	0		
	都市ガス	Kg-CO ₂		0	0		
	液化天然ガス(LNG)	Kg-CO ₂		0	0		
	液化石油ガス(LPG)	Kg-CO ₂		129	358		
	ガソリン	Kg-CO ₂		76,839	109,626	○	自動車使用による二酸化炭素の発生
	軽油	Kg-CO ₂		5,434	3,862	○	自動車使用による二酸化炭素の発生
	② 廃棄物等総排出量及び廃棄物最終処分量						
	一般廃棄物 小計	t		227	377		
	再資源化量	t		0	0		
	廃棄物焼却量	t		227	377	○	一般廃棄物の排出
	最終処分(埋立)量	t		0	0		

イン プ ット	再資源化率		%		0%	0%		
	産業廃棄物 小計		t		101	352		
	再資源化量		t		22	237		
	廃棄物焼却量		t		37	95	○	産業廃棄物の排出
	最終処分(埋立)量		t		42	20		
	再資源化率		%		22%	67%		
	③ 総排水量及び水使用量							
	# 総排水量		合計	m ³	1,990	1,994		
			公共用水域	m ³	0	0		
			下水道	m ³	1,990	1,994		
			公共用水域	m ³	0	0		
					0	0		
	# 水使用量		合計	m ³	1,990	1,994		
			上水	m ³	1,990	1,994	○	水道水の使用
			工業用水	m ³	0	0		
			地下水		0	0		
イ ン プ ット	④ 化学物質使用量							
	⑤ エネルギー使用量		合計	MJ	2,484,076	2,429,382		
			購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	424,479	362,265		
			化石燃料	MJ	1,378,457	1,741,410		
			新エネルギー	MJ	0	0		
			その他	MJ	0	0		

※使用量(排出量)の多寡、使用や発生の頻度、有害性等を考慮して、取り組みの対象とする項目を特定する

＜インプット＞

③-2 水 1,994 m³ →
 ④化学物質 →
 ⑤エネルギー 2,429,382 MJ →
 ⑥原材料、商品、副資材 →

物質収支(マテリアルバランス)の考え方

建築工事業、土木工事業
 地質調査業、測量業、
 建設コンサルタント業
 ⑦循環資源

環境パフォーマンス指標のコア指

＜アウトプット＞

①二酸化炭素 146,100 Kg-CO2
 ②廃棄物 730 t
 ③-1排水 1,994 m³
 ⑧製品(サービス)

太字が把握の必須項目

① 温室効果ガス排出量（二酸化炭素排出量のみ掲載）（自動計算）

必須項目

		単位	合計(年)			排出係数 (B)	単位発熱量 (C)		
			消費量 (A)	排出量 (kg-CO ₂) (A×B) or (A×B×C)	割合				
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力(事業所)		kWh	36,853	15,354	136%	0.416 (kg-CO ₂ /kWh)	
		購入電力(工事現場)		kWh	33,134	13,916	50%	0.416 (kg-CO ₂ /kWh)	
		化石燃料	灯油	L	1198	2,983	11%	2.49 (kg-CO ₂ /L)	36.7 (MJ/l)
			A重油	L	0	0	0%	2.71 (kg-CO ₂ /L)	39.1 (MJ/l)
			都市ガス	Nm ³	0	0	0%	2.16 (kg-CO ₂ /m ³)	41.1 (MJ/Nm3)
			液化天然ガス(LNG)	kg	0	0	0%	2.70 (kg-CO ₂ /kg)	54.5 (MJ/kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg	119,464	358	1%	3.00 (kg-CO ₂ /kg)	50.2 (MJ/kg)
			ガソリン	L	47253	109,626	148%	2.32 (kg-CO ₂ /L)	34.6 (MJ/l)
			軽油	L	1497	3,862	4%	2.58 (kg-CO ₂ /L)	38.2 (MJ/l)
		化石燃料 小計			0	116,830	164%		
	その他	熱供給(蒸気)	MJ	0	0	0%	0.057 (kg-CO ₂ /MJ)		
				0	0	0%			
		その他 小計			0	0	0%		
	エネルギー消費 計			0	132,184	300%			
	廃棄物	廃油	t	0	0	0%	2900 (kg-CO ₂ /t)		
		廃プラスチック	t	0	0	0%	2600 (kg-CO ₂ /t)		
		廃棄物焼却処理 計			0	0	0%		
その他			0	0	0%				
	その他 計			0	0	0%			
二酸化炭素排出量合計				132183.7					

② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量

単位: t

必須項目

			再資源化量		廃棄物量	最終処分量	合計	再資源化率	
			売却	支払	(焼却)	(埋立)		(%)	
廃棄物等総排出量	一般廃棄物 (事務所系のみ)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	
		可燃ごみ	0.00	0.00	377.30	0.00	377.30	0%	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	
		一般廃棄物合計	0.00	0.00	377.30	0.00	377.30	0%	
	産業廃棄物		木	0.00	37.00	0.00	0.00	37.00	100%
			コンクリート	0.00	94.18	0.00	0.00	94.18	100%
			金属	0.00	42.96	0.00	0.00	42.96	100%
			プラ	0.00	0.00	2.10	0.00	2.10	0%
			石綿	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0%
			ガラス・陶磁器	0.00	0.00	0.00	19.24	19.24	0%
			石膏ボード	0.00	4.05	0.00	0.00	4.05	100%
			アスファルト	0.00	59.23	0.00	0.00	59.23	100%
			繊維	0.00	0.00	0.03	0.00	0.03	0%
			混合廃棄物	0.00	0.00	92.52	0.00	92.52	
		廃酸・廃アルカリ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	
		特別管理	廃酸・廃アルカリ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
	産業廃棄物合計		0.00	237.42	94.65	20.24	352.31	67.39%	
合計			0.00	237.42	471.95	20.24	352.31	67.39%	

項目	発生量(t)	再使用量 (t)	ストック量 (t)	埋立等処理 量(t)	有効利用率 (%)
建設発生土(注)	0	0	0	0	—

③ 総排水量及び水使用量

③-1 総排水量

必須項目

			事務所		
③-1 総排水量			実績(m ³)	割合(%)	
総排水量	公共用水域	河川	m ³	0	
		湖沼	m ³	0	
		海域	m ³	0	
		各種水路	m ³	0	
				0	
	公共用水域合計		m ³	0	
	下水道		m ³	1,994	100%
総排水量合計			1,994	100%	

③ 水使用量

			事務所	
			合計(年)	
			実績(m ³)	割合(%)
水使用量	上水(事業所)	m ³	21	
	上水(工事現場)	m ²	1,973	
	工業用水	m ³	0	
	地下水	m ³	0	
	海水、河川水	m ³	0	
	雨水	m ³	0	
	水使用量合計	m ³	1,994	100%

把握できない場合の理由

④ 化学物質使用量

必須項目

化学物質の種類		製品使用量	化学物質量		製品保管量	備考
製品	化学物質	使用量 (単位)	含有率(%)	含有量kg	保管量 (単位)	
		kg			L	
		kg			L	
		kg			L	

⑤ エネルギー使用量

		単位	合計(年)			単位発熱量 (B)
			使用量・消費量 (A)	エネルギー量(MJ) (A×B)	割合 (%)	
購入電力(事業所)		kWh	36,853	362,265	15%	9.83 33,134
購入電力(工事現場)		kWh	33,134	325,707	13%	9.83 (MJ/kWh)
化石燃料	灯油	L	1,198	43,967	2%	36.7 (MJ/l)
	A重油	L	0	0	0%	39.1 (MJ/l)
	都市ガス	Nm ³	0	0	0%	44.8 (MJ/Nm ³)
	液化天然ガス(LNG)	kg	0	0	0%	54.5 (MJ/kg)
	液化石油ガス(LPG)	kg	119	6,069	0%	50.8 (MJ/kg)
	ガソリン	L	47,253	1,634,938	67%	34.6 (MJ/l)
	経由	L	1,497	56,437	2%	37.7 (MJ/l)
			0	0	0%	
化石燃料合計		MJ		1,741,410		
新エネルギー	太陽光発電	kWh	0	0	0%	3.6 (MJ/kWh)
	太陽熱	kWh	0	0	0%	3.6 (MJ/kWh)
	風力	kWh	0	0	0%	3.6 (MJ/kWh)
	水力	kWh	0	0	0%	3.6 (MJ/kWh)
	燃料電池	kWh	0	0	0%	3.6 (MJ/kWh)
	廃棄物	kWh	0	0	0%	3.6 (MJ/kWh)
			0	0	0%	
新エネルギー合計		MJ		0		
その他	熱供給(蒸気)					
その他合計		MJ		0		
エネルギー使用量合計		MJ		2,429,382		

OLPGの消費量を気体 (m³) として把握している場合については 1m³=2.07kgとして換算してください。

□事業の規模

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	3,051	2,834	2,287
従業員	人	16	16	16
床面積	m ²	1,083	1,083	1,083

作成日：	2023年9月1日
更新日：	2024年10月1日
実施者名：	寺元直樹
保管：	

□建設現場等の概要及び件数

＜工事・業務等＞（売上高2千万円以上）

工事・業務等の名称	規模(金額)	内容・工事期間	環境配慮事項 (CO ₂ 排出予想量)	使用建機等	発注元	元請下請
プレジオ八戸ノ里 新築マンション計画	1 件	R05/03/03～R06/03/31	不明	重機等	美樹工業(株)	元請
	493 百万円					
(仮称)家族葬の葵会館 名古屋山ホール新築	1 件	R05/09/12～R06/04/15	不明	重機等	株式会社葬祭こころの会	元請
	415 百万円					
令和5年度 東条第一体育館耐震・長寿命化改修及び空調設備工事	1 件	R05/08/03～R06/03/25	不明	重機等	加東市	元請
	180 百万円					
令和5年度旧東条西小学校校舎棟整備工事	1 件	R05/06/28～R06/03/25	不明	重機等	加東市	元請
	257 百万円					
プレジオ長田新築工事	1 件	R06/03/20～R07/08/31	不明	重機等	美樹工業(株)	元請
	1150 百万円					
メタルリサイクルJAPAN関西支店 新築工事	1 件	R05/11/30～R06/07/31	不明	重機等	株式会社リサイクルJAPAN	元請
	164 百万円					
(仮称)特別養護老人ホームくみのき苑さらさら新築工事	1 件	R05/09/15～R06/11/30	不明	重機等	栗本建設工業(株)	下請
	110 百万円					
(仮称)神戸市中央区日暮通1丁目プロジェクト	1 件	R04/06/07～R05/11/15	不明	重機等	美樹工業(株)	元請
	458 百万円					
山崎南小学校統合改修工事	1 件	R06/06/01～R07/02/28	不明	重機等	穴粟市	元請
	286 百万円					
大容量燃焼試験設備(LCT)建設工事	1 件	R06/01/05～R06/04/30	不明	重機等	(株)フジタ	下請
	60 百万円					
八千種小学校トイレ改修工事	1 件	R05/06/07～R05/10/31	不明	重機等	福崎町	元請
	75 百万円					
吉田悌三郎様邸改修工事・吉田恵様邸新築工事	1 件	R05/01/13～R05/09/30	不明	重機等	吉田悌三郎 吉田恵	元請
	70 百万円					

□環境への負荷の状況（取りまとめ表）

		(自動計算)			特定した環境負荷	特定した活動
環境への負荷		単位	2021年	2022年	2023年	
アウトプット	① 温室効果ガス排出量					
	二酸化炭素排出量 合計	Kg-CO ₂		79,402	41,530	
	電力(事業所)	Kg-CO ₂		9,106	8,817	○ 電力使用による二酸化炭素の発生
	電力(工事現場)	Kg-CO ₂		30,766	13,916	
	購入電力	kWh		23,532	20,992	
	電力の二酸化炭素排出係数(調整後)	Kg-CO ₂ /kWh		0.420	0.420	
	化石燃料	Kg-CO ₂		39,530	18,797	
	灯油	Kg-CO ₂		1,406	2,893	
	A重油	Kg-CO ₂		0	0	
	都市ガス	Kg-CO ₂		0	0	
	液化天然ガス(LNG)	Kg-CO ₂		0	0	
	液化石油ガス(LPG)	Kg-CO ₂		38	63	
	ガソリン	Kg-CO ₂		37,251	15,742	○ 自動車使用による二酸化炭素の発生
	軽油	Kg-CO ₂		835	98	○ 自動車使用による二酸化炭素の発生
		Kg-CO ₂				
		Kg-CO ₂				
		Kg-CO ₂				
	② 廃棄物等総排出量及び廃棄物最終処分量					
	一般廃棄物 小計	t		227	164	
	再資源化量	t		0	0	
	廃棄物焼却量	t		227	164	○ 一般廃棄物の排出
	最終処分(埋立)量	t		0	0	

イン プ ット	再資源化率		%		0%	0%		
	産業廃棄物	小計	t		101	352		
	再資源化量		t		22	237		
	廃棄物焼却量		t		37	95	○	産業廃棄物の排出
	最終処分(埋立)量		t		42	20		
	再資源化率		%		22%	67%		
	③ 総排水量及び水使用量							
	# 総排水量	合計	m³		1,783	1,801		
	公共用水域		m³		0	0		
	下水道		m³		1,783	1,801		
	公共用水域		m³		0	0		
	# 水使用量	合計	m³		1,783	1,801		
	上水		m³		1,783	1,801	○	水道水の使用
	工業用水		m³		0	0		
	地下水				0	0		
	④ 化学物質使用量							
	0		kg		0	0		
	0		kg		0	0		
	0		kg		0	0		
	⑤ エネルギー使用量		合計	MJ	1,546,068	811,983		
	購入電力(新エネルギーを除く)		MJ		231,320	206,351		
	化石燃料		MJ		633,608	279,924		
	新エネルギー		MJ		0	0		
	その他		MJ		0	0		

※使用量(排出量)の多寡、使用や発生の頻度、有害性等を考慮して、取り組みの対象とする項目を特定する

＜インプット＞

③-2 水 1,801 m³
 ④化学物質
 ⑤エネルギー 811,983 MJ
 ⑥原材料、商品、副資材

物質収支(マテリアルバランス)の考え方

建築工事業、土木工事業、
 地質調査業、測量業、
 建設コンサルタント業
 ⑦循環資源

環境パフォーマンス指標のコア指

＜アウトプット＞

①二酸化炭素 41,530 Kg-CO2
 ②廃棄物 516 t
 ③-1排水 1,801 m³
 ⑧製品(サービス)

太字が把握の必須項目

① 温室効果ガス排出量（二酸化炭素排出量のみ掲載）（自動計算）

必須項目

		単位	合計(年)			排出係数 (B)	単位発熱量 (C)		
			消費量 (A)	排出量 (kg-CO ₂) (A × B) or (A × B × C)	割合				
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力(事業所)		kWh	20,992	8,817	32%	0.42 (kg-CO ₂ /kWh)	
		購入電力(工事現場)		kWh	33,134	13,916	50%	0.42 (kg-CO ₂ /kWh)	
		化石燃料	灯油	L	1162	2,893	10%	2.49 (kg-CO ₂ /L)	36.7 (MJ/l)
			A重油	L	0	0	0%	2.71 (kg-CO ₂ /L)	39.1 (MJ/l)
			都市ガス	Nm ³	0	0	0%	2.16 (kg-CO ₂ /m ³)	41.1 (MJ/Nm ³)
			液化天然ガス(LNG)	kg	0	0	0%	2.70 (kg-CO ₂ /kg)	54.5 (MJ/kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg	21,146	63	0%	3.00 (kg-CO ₂ /kg)	50.2 (MJ/kg)
			ガソリン	L	6785.31	15,742	57%	2.32 (kg-CO ₂ /L)	34.6 (MJ/l)
			軽油	L	38	98	0%	2.58 (kg-CO ₂ /L)	38.2 (MJ/l)
		化石燃料 小計				18,797	68%		
	その他	熱供給(蒸気)	MJ	0	0	0%	0.057 (kg-CO ₂ /MJ)		
		その他 小計				0	0%		
		エネルギー消費 計				27,613	100%		
	産廃	廃油	t		0	0%	2900 (kg-CO ₂ /t)		
		廃プラスチック	t		0	0%	2600 (kg-CO ₂ /t)		
		廃棄物焼却処理 計				0	0%		
その他				0	0%				
	その他 計				0	0%			
	二酸化炭素排出量合計				27613.4				

② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量

単位: t

必須項目

			再資源化量		廃棄物量	最終処分量	合計	再資源化率	
			売却	支払	(焼却)	(埋立)		(%)	
廃棄物等総排出量	一般廃棄物（事務所系ごみ）						0.00	-	
							0.00	-	
							0.00	-	
							0.00	-	
							0.00	-	
		可燃ごみ			163.80		163.80	0%	
								-	
								-	
								-	
		一般廃棄物合計	0.00	0.00	163.80	0.00	163.80	0%	
	産業廃棄物		木		37.00			37.00	100%
			コンクリート		94.18			94.18	100%
			金属		42.96			42.96	100%
			プラ			2.10		2.10	0%
			石綿				1.00	1.00	0%
			ガラス・陶磁器				19.24	19.24	0%
			石膏ボード		4.05			4.05	100%
			アスファルト		59.23			59.23	100%
			繊維			0.03		0.03	0%
			混合廃棄物			92.52		92.52	
			廃酸・廃アルカリ					0.00	-
			廃酸・廃アルカリ					0.00	-
		特別管理							-
									-
									-
			産業廃棄物合計	0.00	237.42	94.65	20.24	352.31	67.39%
合計			0.00	237.42	258.45	20.24	352.31	67.39%	

項目	発生量(t)	再使用量(t)	ストック量(t)	埋立等処理量(t)	有効利用率(%)
建設発生土(注)					

③ 総排水量及び水使用量

③-1 総排水量

必須項目

			事務所	
			実績(m ³)	割合(%)
総排水量	公共用水域	河川	m ³	
		湖沼	m ³	
		海域	m ³	
		各種水路	m ³	
		公共用水域合計	m ³	0
	下水道		m ³	1,801 100%
	総排水量合計			1,801 100%

③ 水使用量

			事務所	
			合計(年)	
			実績(m ³)	割合(%)
水使用量	上水(事業所)	m ³	21	1%
	上水(工事現場)	m ³	1,780	99%
	工業用水	m ³		
	地下水	m ³		
	水	m ³		
	雨水	m ³		
	水使用量合計	m ³	1,801	100%

把握できない場合の理由

④ 化学物質使用量

必須項目

化学物質の種類		製品使用量	化学物質量		製品保管量	備考
製品	化学物質	使用量 (単位)	含有率(%)	含有量kg	保管量 (単位)	
		kg			L	
		kg			L	
		kg			L	

⑤ エネルギー使用量

		単位	合計(年)			単位発熱量 (B)
			使用量・消費量 (A)	エネルギー量(MJ) (A×B)	割合 (%)	
購入電力(事業所)		kWh	20,992	206,351	25%	9.83 33,134
購入電力(工事現場)		kWh	33,134	325,707	40%	9.83 (MJ/kWh)
化石燃料	灯油	L	1,162	42,645	5%	36.7 (MJ/l)
	A重油	L		0		39.1 (MJ/l)
	都市ガス	Nm ³		0		44.8 (MJ/Nm ³)
	液化天然ガス(LNG)	kg		0		54.5 (MJ/kg)
	液化石油ガス(LPG)	kg	21	1,074	0%	50.8 (MJ/kg)
	ガソリン	L	6,785	234,772	29%	34.6 (MJ/l)
	軽油	L	38	1,433	0%	37.7 (MJ/l)
	化石燃料合計	MJ		279,924		
新エネルギー	太陽光発電	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	太陽熱	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	風力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	水力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	燃料電池	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	廃棄物	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	新エネルギー合計	MJ		0		
その他	熱供給(蒸気)					
	その他合計	MJ		0		
エネルギー使用量合計		MJ		811,983		

OLPGの消費量を気体 (m³) として把握している場合については 1 m³=2.07kgとして換算してください。

イン プ ット	再資源化率		%		0%	0%		
	産業廃棄物	小計	t		0	0		
	再資源化量		t		0	0		
	廃棄物焼却量		t		0	0		
	最終処分(埋立)量		t		0	0		
	再資源化率		%		0%	0%		
	③ 総排水量及び水使用量							
	# 総排水量	合計	m ³		207	193		
	公共用水域		m ³		0	0		
	下水道		m ³		207	193		
	公共用水域		m ³		0	0		
	# 水使用量	合計	m ³		207	193		
	上水		m ³		207	193	○	水道水の使用
	工業用水		m ³		0	0		
	地下水				0	0		
	④ 化学物質使用量							
	0		kg		0	0		
	0		kg		0	0		
	0		kg		0	0		
	⑤ エネルギー使用量		合計	MJ	890,018	1,572,428		
	購入電力(新エネルギーを除く)		MJ		145,169	110,941		
	化石燃料		MJ		744,849	1,461,486		
	新エネルギー		MJ		0	0		
	その他		MJ		0	0		

※使用量(排出量)の多寡、使用や発生の頻度、有害性等を考慮して、取り組みの対象とする項目を特定する
 <インプット> 物質収支(マテリアルバランス)の考え方 <アウトプット>

③-2 水	193 m ³	⇒	建築工事業、土木工事業	⇒	①二酸化炭素	102,649 Kg-CO2
④化学物質		⇒	地質調査業、測量業、建設コンサルタント業	⇒	②廃棄物	193 t
⑤エネルギー	1,572,428 MJ	⇒	⑦循環資源	⇒	③-1排水	193 m ³
⑥原材料、商品、副資材		⇒		⇒	⑧製品(サービス)	

※環境パフォーマンス指標のコア指標

太字が把握の必須項目

① 温室効果ガス排出量（二酸化炭素排出量のみ掲載）（自動計算） 必須項目

		単位	合計(年)			排出係数 (B)	単位発熱量 (C)		
			消費量 (A)	排出量 (kg-CO ₂) (A×B) or (A×B×C)	割合				
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力(事業所)	kWh	11,286	4,616	4%	0.409 (kg-CO ₂ /kWh)		
		購入電力(工事現場)	kWh	0	0	0%	0.409 (kg-CO ₂ /kWh)		
		化石燃料	灯油	L	36	90	0%	2.49 (kg-CO ₂ /L)	36.7 (MJ/l)
			A重油	L	0	0	0%	2.71 (kg-CO ₂ /L)	39.1 (MJ/l)
			都市ガス	Nm ³	0	0	0%	2.16 (kg-CO ₂ /m ³)	41.1 (MJ/Nm ³)
			液化天然ガス(LNG)	kg	0	0	0%	2.70 (kg-CO ₂ /kg)	54.5 (MJ/kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg	98.3	295	0%	3.00 (kg-CO ₂ /kg)	50.2 (MJ/kg)
			ガソリン	L	40,467.2	93,884	91%	2.32 (kg-CO ₂ /L)	34.6 (MJ/l)
			軽油	L	1,459	3,764	4%	2.58 (kg-CO ₂ /L)	38.2 (MJ/l)
		化石燃料 小計			98,033	96%			
		その他	熱供給(蒸気)	MJ	0	0	0%	0.057 (kg-CO ₂ /MJ)	
					0	0	0%		
		その他 小計				0	0%		
	エネルギー消費 計				102,649	100%			
	産業廃棄	廃油	t		0	0%	2900 (kg-CO ₂ /t)		
		廃プラスチック	t		0	0%	2600 (kg-CO ₂ /t)		
廃棄物焼却処理 計				0	0%				
その他				0	0%				
	その他 計				0	0%			
	二酸化炭素排出量合計				102648.8				

② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量 必須項目

		再資源化量		廃棄物量	最終処分量	合計	再資源化率 (%)
		売却	支払	(焼却)	(埋立)		
廃棄物等総排出量	一般廃棄物(事務所系ごみ)					0	-
						0	-
						0	-
						0	-
						0	-
						0	-
				193		193	0%
						0	-
						0	-
						0	-
	一般廃棄物合計		0	0	193	0	0%
	産業廃棄物	木	0	0	0	0	-
		コンクリート	0	0	0	0	-
		金属	0	0	0	0	-
		プラ	0	0	0	0	-
		石綿	0	0	0	0	-
		ガラス・陶磁器	0	0	0	0	-
		石膏ボード	0	0	0	0	-
		アスファルト	0	0	0	0	-
		繊維	0	0	0	0	-
		混合廃棄物	0	0	0	0	-
		廃酸・廃アルカリ	0	0	0	0	-
		廃酸・廃アルカリ				0	-
						0	-
						0	-
	産業廃棄物合計		0	0	0	0	-
	合計		0	0	193	0	-

項目	発生量(t)	再使用量(t)	ストック量(t)	埋立等処理量(t)	有効利用率(%)
建設発生土(注)					#DIV/0!

③ 総排水量及び水使用量

③-1 総排水量

必須項目

			事務所	
			実績(m ³)	割合(%)
総排水量	公共用水域	河川	m ³	
		湖沼	m ³	
		海域	m ³	
		各種水路	m ³	
		公共用水域合計	m ³	0
	下水道	m ³	193	100%
	総排水量合計		193	100%

③ 水使用量

			事務所	
			合計(年)	
			実績(m ³)	割合(%)
水使用量	上水(事業所)	m ³	0	
	上水(工事現場)	m ³	193	
	工業用水	m ³		
	地下水	m ³		
	水	m ³		
	雨水	m ³		
	水使用量合計	m ³	193	100%

把握できない場合の理由

④ 化学物質使用量

必須項目

化学物質の種類		製品使用量	化学物質		製品保管量	備考
製品	化学物質	使用量 (単位)	含有率(%)	含有量kg	保管量 (単位)	
		kg		0	L	
		kg		0	L	
		kg		0	L	

⑤ エネルギー使用量

		単位	合計(年)			単位発熱量 (B)
			使用量・消費量 (A)	エネルギー量 (MJ) (A × B)	割合 (%)	
購入電力(事業所)		kWh	11,286	110,941	7%	9.83 98
購入電力(工事現場)		kWh		0		9.83 (MJ/kWh)
化石燃料	灯油	L	36	1,321	0%	36.7 (MJ/l)
	A重油	L		0		39.1 (MJ/l)
	都市ガス	Nm³		0		44.8 (MJ/Nm³)
	液化天然ガス(LNG)	kg		0		54.5 (MJ/kg)
	液化石油ガス(LPG)	kg	98.3	4,995	0%	50.8 (MJ/kg)
	ガソリン	L	40,467.2	1,400,166	89%	34.6 (MJ/l)
	軽油	L	1,459	55,004	3%	37.7 (MJ/l)
化石燃料合計		MJ		1,461,486		
新エネルギー	太陽光発電	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	太陽熱	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	風力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	水力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	燃料電池	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	廃棄物	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	新エネルギー合計	MJ		0		
その他	熱供給(蒸気)					
	その他合計	MJ		0		
エネルギー使用量合計		MJ		1,572,428		

OLPGの消費量を気体 (m³) として把握している場合については 1 m³=2.07kgとして換算してください。

□事業の規模

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	本社に含む	本社に含む	本社に含む
従業員	人	1	1	1
床面積	m ²	72	72	72

作成日:	2023年9月1日
更新日:	2024年10月1日
実施者名:	寺元直樹
保管:	

□建設現場等の概要及び件数

＜工事・業務等＞

[illegible]

□環境への負荷の状況（取りまとめ表）

(自動計算)

□環境への負荷の状況（取りまとめ表）			（自動計算）			特定した環境負荷	特定した活動	
環境への負荷			単位	2021年	2022年	2023年		
アウトプット	① 温室効果ガス排出量							
	二酸化炭素排出量	合計	Kg-CO ₂		2,168	1,922		
	電力(事業所)		Kg-CO ₂		2,100	1,922	○	電力使用による二酸化炭素の発生
	電力(工事現場)				0	0		
	購入電力		kWh		4,882	4,575		
	電力の二酸化炭素排出係数(調整後)		Kg-CO ₂ /kWh		0.420	0.420		
	化石燃料		Kg-CO ₂		0	0		
	灯油		Kg-CO ₂		0	0		
	A重油		Kg-CO ₂		0	0		
	都市ガス		Kg-CO ₂		0	0		
	液化天然ガス(LNG)		Kg-CO ₂		0	0		
	液化石油ガス(LPG)		Kg-CO ₂		0	0		
	ガソリン		Kg-CO ₂		0	0	○	自動車使用による二酸化炭素の発生
	軽油		Kg-CO ₂		0	0	○	自動車使用による二酸化炭素の発生
			Kg-CO ₂					
			Kg-CO ₂					
			Kg-CO ₂					
	② 廃棄物等総排出量及び廃棄物最終処分量							
	一般廃棄物	小計	t		0	21		
	再資源化量		t		0	0		
廃棄物焼却量		t		0	21			
最終処分(埋立)量		t		0	0			
再資源化率		%		0%	0%			

イン プ ット	産業廃棄物		小計	t		0	0		
	再資源化量			t		0	0		
	廃棄物焼却量			t		0	0		
	最終処分(埋立)量			t		0	0		
	再資源化率			%		0%	0%		
	③ 総排水量及び水使用量								
	# 総排水量	合計		m ³		0	0		
	公共用水域			m ³		0	0		
	下水道			m ³		0	0		
	公共用水域			m ³		0	0		
	# 水使用量	合計		m ³		0	0		
	上水			m ³		0	0		
	工業用水			m ³		0	0		
	地下水					0	0		
	④ 化学物質使用量								
	0			kg		0	0		
	0			kg		0	0		
	0			kg		0	0		
	⑤ エネルギー使用量	合計		MJ		47,990	44,972		
	購入電力(新エネルギーを除く)			MJ		47,990	44,972		
	化石燃料			MJ		0	0		
	新エネルギー			MJ		0	0		
	その他			MJ		0	0		

※使用量(排出量)の多寡、使用や発生の頻度、有害性等を考慮して、取り組みの対象とする項目を特定する

<インプット>

③-2 水 0 m³

④化学物質

⑤エネルギー 44,972 MJ

⑥原材料、商品、副資材

物質収支(マテリアルバランス)の考え方

建築工事業、土木工事業
地質調査業、測量業、
建設コンサルタント業
⑦循環資源

環境パフォーマンス指標のコア指標

太字が把握の必須項目

<アウトプット>

①二酸化炭素 1,922 Kg-CO₂

②廃棄物 21 t

③-1排水 0 m³

⑧製品(サービス)

① 温室効果ガス排出量（二酸化炭素排出量のみ掲載）

（自動計算）

必須項目

		単位	合計(年)			排出係数 (B)	単位発熱量 (C)		
			消費量 (A)	排出量 (kg-CO ₂) (A×B) or (A×B×C)	割合				
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力(事業所)	kWh	4,575	1,922	100%	0.42 (kg-CO ₂ /kWh)		
		購入電力(工事現場)	kWh	0	0	0%	0.42 (kg-CO ₂ /kWh)		
		化石燃料	灯油	L	0	0	0%	2.49 (kg-CO ₂ /L)	36.7 (MJ/l)
			A重油	L	0	0	0%	2.71 (kg-CO ₂ /L)	39.1 (MJ/l)
			都市ガス	Nm ³	0	0	0%	2.16 (kg-CO ₂ /m ³)	41.1 (MJ/Nm3)
			液化天然ガス(LNG)	kg	0	0	0%	2.70 (kg-CO ₂ /kg)	54.5 (MJ/kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg	0	0	0%	3.00 (kg-CO ₂ /kg)	50.2 (MJ/kg)
			ガソリン	L	0	0	0%	2.32 (kg-CO ₂ /L)	34.6 (MJ/l)
			軽油	L	0	0	0%	2.58 (kg-CO ₂ /L)	38.2 (MJ/l)
		化石燃料 小計			0	0%			
	その他	熱供給(蒸気)	MJ	0	0	0%	0.057 (kg-CO ₂ /MJ)		
				0	0	0%			
		その他 小計			0	0%			
	エネルギー消費 計			1,922	100%				
	産廃	廃油	t		0	0%	2900 (kg-CO ₂ /t)		
		廃プラスチック	t		0	0%	2600 (kg-CO ₂ /t)		
廃棄物焼却処理 計			0	0%					
その他				0	0%				
	その他 計			0	0%				
二酸化炭素排出量合計				1921.5					

② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量

単位: t

必須項目

		再資源化量		廃棄物量 (焼却)	最終処分量 (埋立)	合計	再資源化率 (%)
		売却	支払				
廃棄物等総排出量	一般廃棄物(事務所系ごみ)					0	-
						0	-
						0	-
						0	-
						0	-
						0	-
				21		21	0%
						0	-
						0	-
						0	-
	一般廃棄物合計		0	0	21	0	0%
	産業廃棄物	木	0	0	0	0	-
		コンクリート	0	0	0	0	-
		金属	0	0	0	0	-
		プラ				0	-
		石綿				0	-
		ガラス・陶磁器				0	-
		石膏ボード				0	-
		アスファルト				0	-
		繊維				0	-
		混合廃棄物				0	-
		廃酸・廃アルカリ				0	-
		廃酸・廃アルカリ				0	-
	特別管理					0	-
						0	-
	産業廃棄物合計		0	0	0	0	-
	合計		0	0	21	0	-

項目	発生量(t)	再使用量(t)	ストック量(t)	埋立等処理量(t)	有効利用率(%)
建設発生土(注)					#DIV/0!

③ 総排水量及び水使用量

③-1 総排水量

必須項目

③-1 総排水量				事務所	
				実績(m ³)	割合(%)
総排水量	公共用水域	河川	m ³		
		湖沼	m ³		
		海域	m ³		
		各種水路	m ³		
	公共用水域合計		m ³	0	
	下水道		m ³	0	
総排水量合計			0	100%	

③ 水使用量

			事務所	
			合計(年)	
			実績(m ³)	割合(%)
水使用量	上水(事業所)	m ³	0	
	上水(工事現場)	m ²	0	
	工業用水	m ³		
	地下水	m ³		
	水	m ³		
	雨水	m ³		
	水使用量合計	m ³	0	100%

把握できない場合の理由

④ 化学物質使用量

必須項目

化学物質の種類		製品使用量	化学物質量		製品保管量	備考
製品	化学物質	使用量 (単位)	含有率(%)	含有量kg	保管量 (単位)	
		kg			L	
		kg			L	
		kg			L	

⑤ エネルギー使用量

		単位	合計(年)			単位発熱量 (B)
			使用量・消費量 (A)	エネルギー量 (MJ) (A×B)	割合 (%)	
購入電力(事業所)		kWh	4,575	44,972	100%	9.83 0
購入電力(工事現場)		kWh	0	0	0%	9.83 (MJ/kWh)
化石燃料	灯油	L	0	0	0%	36.7 (MJ/l)
	A重油	L		0		39.1 (MJ/l)
	都市ガス	Nm ³				44.8 (MJ/Nm ³)
	液化天然ガス(LNG)	kg				54.5 (MJ/kg)
	液化石油ガス(LPG)	kg				50.8 (MJ/kg)
	ガソリン	L				34.6 (MJ/l)
	経由	L				37.7 (MJ/l)
化石燃料合計		MJ		0		
新エネルギー	太陽光発電	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	太陽熱	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	風力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	水力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	燃料電池	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
	廃棄物	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
新エネルギー合計		MJ		0		
その他	熱供給(蒸気)					
	その他合計	MJ		0		
エネルギー使用量合計		MJ		44,972		

OLPGの消費量を気体(m³)として把握している場合については 1m³=2.07kgとして換算してください。

様式：4

環境への取組の自己チェックリスト（建設業編）

更新日	2024/10/1
実施者	寺元直樹

初期調査：全項目実施
以降：環境活動計画策定・見直し時に実施

・毎年見直す(新たな環境活動計画を策定時に実施)
・目標の未達成が想定される場合に見直しをして追加策に役立てる
・独自の取組があればそれぞれの項目の下の中欄に追加する
・追加する取組がある場合には、それぞれの項目の下の中欄に取組の内容を記入して下さい。
・「関連有無」の欄：自社にとって関連する(しそうな)取組については左の欄に「1」を入力
・重要度の欄に、重大「3」、かなり「2」、多少「1」を入力して下さい。
・取組の欄に、既に取り組んでいる「2」、さらに取組が必要「1」、取り組んでいない「0」を入力して下さい。
・「取組項目」の欄：重要性及び技術力、経済性を評価し、今期に取り組むものに◎か○、今後取組を検討するものに△を入力し、◎については環境活動計画の目標達成手段欄に記載する

総合結果	411	/	550
前年度結果		/	
前々年度結果		/	

1. 事務所及び建設現場等の事業活動へのインプットに関する項目

大項目結果	219	/	214
-------	-----	---	-----

1) 省エネルギー

中項目結果	159	/	178
-------	-----	---	-----

①エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約

小項目結果	68	/	72
-------	----	---	----

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
1	・施工方法や作業方法を見直し、エネルギーの効率的利用をしている	1	1	1		2
1	・既存の工法を変更し、エネルギーの消費を抑えている	1	1	1		2
	・使用機械を大型化する等効率的使用から見直し、エネルギーの消費を抑えている			—		—
1	・建設現場の作業規模に応じた建設機械等の種類や規格を用いることでエネルギーの消費を抑えている	2	2	4		4
	・アクティビティやアロー、フロート等を見直し、施工期間を短縮している			—		—
1	・生コンクリートの打設等、気温や湿度、天候、季節に左右される工種は、最適時期に施工するよう工程を変更している	1	1	1		2
1	・運搬計画を見直し、エネルギー消費の少ない運搬を行っている	1	1	1		2
1	・情報化施工の導入を図っている	3	2	6		6
1	・事務所、工場・作業所等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯している	3	2	6		6
1	・ロッカー室や倉庫、作業休憩所、使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯している	3	2	6		6
1	・パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている	3	2	6		6
1	・夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切っている	3	2	6		6
	・エレベーターの使用を控え、階段を使用するよう努めている			—		—
1	・空調の適温化（冷房28度程度、暖房20度程度）を徹底している	3	2	6		6
1	・空調を必要な区域や時間に限定して使用している	3	2	6		6
1	・使用していない部屋の空調は停止している	3	2	6		6
1	・ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節している	3	2	6		6
1	・夏季における軽装（クールビズ）、冬季における重ね着等服装の工夫（ウォームビズ）をして、冷暖房の使用を抑えている	3	2	6		6
				—		—
				—		—

このみ「1」を入力して下さい。

②建設機械及び設備機器等の適正管理

小項目結果 49 / 52

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
1	・建設機械等の作業は、過剰な負荷を掛けないようにしている	1	2	2		2
1	・建設機械等の作業を停止するときは、エンジンを停止している	3	2	6		6
1	・建設機械等は、定期的自主点検の他、施工開始時等に点検を実施	1	2	2		2
1	・建設機械等の整備は、環境に配慮した整備を行っている	2	2	4		4
1	・建設機械等の過積載が行われないよう徹底している	3	2	6		6
1	・建設機械等に使用する燃料やオイルは、環境に配慮した製品を使用	1	2	2		2
1	・建設設備機器は無駄や無理のない運転を行っている	3	2	6		6
	・電力不要時には、負荷遮断、変圧器の遮断を行っている			—		—
1	・照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理	3	2	6		6
	・空気圧縮機については、必要十分なライン圧力に低圧化している			—		—
	・冷暖房終了時間前に熱源機を停止し、装置内の熱を有効利用している（予冷や予熱時には外気の取り入れをしていない）			—		—
	・外気温度が概ね20～27度の中間期は、全熱交換器（換気をしながら、冷暖房の熱を回収して再利用する設備）のバypass運転（普通換気モード、中間期制御運転、熱交換ローター停止）。または、窓の開閉等により外気取り入れ量を調整して室温を調節。			—		—
1	・冬季以外は給湯を停止している	3	1	3		6
	・エレベーターの夜間、休日の部分的停止等を行っている			—		—
1	・共用のコンピューター等の電源については、管理担当者や使用上のルールを決める等、適正に管理している	3	2	6		6
1	・空調機については、フィルターの定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理	3	2	6		6
				—		—

このみ「1」を入力して下さい。

③設備の入替・更新時及び施設の改修にあたっての配慮

小項目結果 42 / 54

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・建設機械等や空気圧縮機、発電機、ボイラー等のエネルギー供給設備については、新規購入及び更新時には省エネルギー型機器を導入している			—		—
	・換気の際に屋外に排出される熱を回収して利用することのできる全熱交換器を採用している			—		—
1	・従来機との比較でCOPの高いヒートポンプエアコンを採用している	3	2	6		6
	・天然ガスを利用した空調システム等の省エネルギー型空調設備を導入している			—		—
1	・天井埋込形エアコンの吹き出しにファン等を付けて、風を攪乱させる装置を導入している	3	2	6		6
	・給湯設備の配管等を断熱化している			—		—
	・従来の変圧器より電力損失の少ない高効率変圧器を採用している			—		—
	・地域冷暖房（地域熱供給）システムを利用している			—		—
1	・コピー機、パソコン、プリンター等のOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入している	3	2	6		6
1	・蛍光灯照明器具の安定器をインバーター式に交換している	3	2	6		6
1	・高効率蛍光灯等の省エネルギー型照明器具に切り替えるようにしている	3	2	6		6
1	・昼間の太陽光や人の存在を感知し、必要時のみ点灯する設備を採用している	3	2	6		6
1	・あらかじめ設定された時刻や時間帯に、照明の箇所や照度等を自動制御するシステムを導入している	3	2	6		6
1	・屋根、壁、床等に断熱材を採用している	2	0	0		4
1	・複層ガラス、二重サッシ等を採用し、建物の断熱性能を向上させている	2	0	0		4
1	・熱線吸収ガラス、熱線反射ガラスを採用し、日射を遮断している	2	0	0		4
				—		—

このみ「1」を入力して下さい。

2) 省資源

小項目結果 33 / 42

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・出来型管理の基準に上乗せして、より高い精度の自主基準を設定している			—		—
	・資源が有効に利用できるよう同種の工事や施工が、同時期に行える配慮をしている			—		—
	・資材発注時に、設計図書等を再チェックし、残余資材の発生を防止している。			—		—
	・施工に合わせたスプレーガンの利用で塗料や洗浄剤等の使用量を抑制している			—		—
	・仮設材等を再利用し、長期有効利用できるよう配慮している			—		—
	・発生した残余資材を再使用できるよう配慮している			—		—
	・会議用資料や事務書類の簡素化に取り組んでいる			—		—
1	・社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組んでいる	3	2	6		6
1	・打合せや会議の資料等については、ホワイトボードやプロジェクターの利用により、ペーパーレス化に取り組んでいる	3	0	0		6
1	・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮している	3	2	6		6
1	・両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底している	3	2	6		6
1	・使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫している	3	2	6		6
1	・使用済み封筒を再利用している	3	2	6		6
1	・コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤り等のミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットしている	3	1	3		6
				—		—

↑関連する取組についての「1」を入力して下さい。

3) 水の効率的利用及び日常的な節水

中項目結果 27 / 36

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・建設現場等（道路路面への散水等）や資機材置場で使用する水を再利用するための設備を設置し、活用している（中水利用）			—		—
	・舗装工事の舗設で使用する散水用の水は、排水路の水や雨水等を利用している			—		—
	・街路樹や公園緑化の植栽工事で使用する散水用の水は、排水路の水や雨水等を利用している			—		—
	・バルブの調整により水量及び水圧の調節を図っている			—		—
	・冷温水発生機、クーリングタワー等の稼働に伴い使用される水の量が適正に保たれるよう設備の管理を行っている			—		—
	・雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水利用を行っている			—		—
	・雨水を地下浸透させる設備（浸透升等）を導入している			—		—
1	・手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している	3	2	6		6
	・建設機械等の洗車には、排水路の水や雨水等を利用している			—		—
	・建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行っている			—		—
1	・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行している	3	2	6		6
1	・洗車等に使用するホースの先には、ストッパーを付けている	3	2	6		6
1	・トイレに水流し音発生器を取り付ける等、トイレ用水を節約している	3	1	3		6
1	・蛇口に節水こま（適量の水を流す機能を持つこま）を設置している	3	0	0		6
1	・水道配管からの漏水を定期的に点検している	3	2	6		6
				—		—

↑関連する取組についての「1」を入力して下さい。

4) 化学物質使用量の抑制及び管理

中項目結果 0 / 0

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・建設現場等で使用する有害性の化学物質は、流出防止対策を徹底している			—		—
	・建設現場等で使用する有害性の化学物質の拡散防止対策を徹底している			—		—
	・燃料油、溶剤、塗料等の揮発を防止する等、VOCの排出抑制に取り組んでいる			—		—
	・接着剤、防水剤、塗料等に含まれる有害性の化学物質の削減に取り組んでいる			—		—
	・建設現場等で使用する化学物質は、生分解性等の環境にやさしい製品の使用促進を行っている			—		—
	・建設現場等における化学物質は必要最小限の使用量とし、保管は原則行わないようにしている			—		—
	・有害性の化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録・管理している			—		—
	・有害性の化学物質の排出量の計測、推定等を行っている			—		—
	・有害性の化学物質の表示を徹底している			—		—
	・化学物質の安全性に関する情報伝達のため、MSDS（化学物質安全データシート）により管理している			—		—
	・有害物質の保管容器等の保守・点検を定期的に行う等適正管理に努めている			—		—
	・屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に取り組んでいる			—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

2. 事務所及び建設現場等の事業活動からのアウトプットに関する項目

1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止

①温室効果ガスの排出抑制

大項目結果 98 / 208
中項目結果 50 / 68
小項目結果 33 / 40

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・低炭素型建設機械の導入を図っている			—		—
1	・燃料消費の少ない施工方法や作業方法を採用している	1	1	1		2
1	・施工方法や作業方法によって、燃料消費の少ない建設機械等や設備機器を選定している	3	1	3		6
1	・燃料消費の少ない工法への変更に取り組んでいる	1	1	1		2
1	・燃料消費の少ない建設機械等や設備機器の組み合わせを推進している	1	1	1		2
1	・燃料消費の少ない運搬経路や資材搬入経路を検討し、採用している	3	2	6		6
1	・建設車両のタイヤ空気圧の適正維持を行っている	1	1	1		2
1	・建設機械等の省エネ運転を推進している	3	2	6		6
1	・建設機械等のアイドリングストップを行っている	1	2	2		2
	・国土交通省の建設施工における地球温暖化防止の手引きに従い、取り組んでいる			—		—
	・情報化施工による低燃費施工の導入を図っている			—		—
	・製品購入の際には、できるだけHFC（ハイドロフルオロカーボン）、PFC（パーフルオロカーボン）、SF6（六フッ化硫黄）等を使用していない製品を選ぶように配慮している			—		—
	・HFC（ハイドロフルオロカーボン）、PFC（パーフルオロカーボン）、SF6（六フッ化硫黄）等を使用している製品を廃棄する際の回収に努めている			—		—
1	・都市ガス、灯油等の環境負荷の少ない燃料を優先的に購入、使用している	3	2	6		6
	・燃料電池システムを導入している			—		—
	・太陽光発電設備を導入し、太陽エネルギーを電気として利用している			—		—
	・太陽熱温水器等を導入し、加熱した水を暖房や給湯に利用している			—		—
	・マイクロ水力（発電規模100kW程度以下の水力発電）を導入している			—		—
1	・カーボン・オフセットに取り組んでいる商品やサービスを購入または使用している	3	2	6		6
				—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

②大気汚染物質の排出抑制

		小項目結果	17	／	28	満点 A*2
関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	
	・排出ガス対策型建設機械の導入を図っている			—		—
	・排出ガス低減効果のある燃料やオイルを使用する			—		—
1	・建設機械等の定期的自主点検の他、施工開始時等に点検を実施する	3	1	3		6
	・大気汚染の少ないプロセスや機器（低NOx燃焼機器等）を採用している			—		—
1	・日常的に大気汚染防止への配慮（燃焼管理等）を行っている	3	1	3		6
1	・大気汚染について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その遵守に努めている	2	1	2		4
1	・粉じん、ばい煙等の監視及び測定や粉じん、ばい煙処理設備の点検を定期的に行う等、適正に管理している	3	1	3		6
1	・特定フロンの回収、適正処理を行っている	3	2	6		6
				—		—
				—		—
				—		—

2) 廃棄物（建設副産物等）の排出抑制、リサイクル、適正処理

中項目結果 87 / 96

※建設副産物の再資源化については、「建設廃棄物の3R、適正処理が地球を守ります」
（財団法人産業廃棄物処理事業振興財団<http://www.sanpainet.or.jp/>）や、
建設副産物リサイクル広報推進会議ホームページ<http://www.suishinkaigi.jp/index.html>
等が参考となりますので活用してください。

①廃棄物の発生そのものを抑える取組

		小項目結果	33	／	42	満点 A*2
関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	
	・施工管理の出来型管理計画時に、設計基準に上乗せした自主基準を設けて、生コンクリートやアスファルト・コンクリートの廃棄を抑制している			—		—
1	・建設資材発注時に使用数量を再チェックし、残余建設資材の廃棄を抑制している	3	1	3		6
	・施工温度の影響による品質劣化を防ぐため温度管理を徹底している			—		—
1	・品質劣化等による不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化等在庫管理を徹底している	3	2	6		6
1	・使い捨て製品（紙コップ、使い捨て容器入りの弁当等）の使用や購入を抑制している	3	1	3		6
	・リターナブル容器（ビール瓶、一升瓶等）に入った製品を優先的に購入し、使用している			—		—
1	・再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用している	3	2	6		6
1	・詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用を進めている			0		0
1	・コピー機、パソコン、プリンター等について、リサイクルしやすい素材を使用した製品を購入している	3	2	6		6
1	・商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入している	3	1	3		6
1	・OA機器等の故障時には、修理可能かどうかをチェックし、可能な限り修理することで長期使用に努めている	3	2	6		6
				—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

②リサイクルの促進

小項目結果 42 / 42

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・建設現場等で発生する建設副産物の再利用率向上のため工夫をしている（建設発生木材のチップ化等建設資材として再利用している）			—		—
1	・建設現場等で発生する廃棄物を混合廃棄物としないよう徹底している	3	2	6		6
1	・建設現場等で発生する混合廃棄物を分解等して分別し、リユース、リサイクルしている	3	2	6		6
1	・紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している	3	2	6		6
1	・シュレッダーの使用を機密文書等に限る、シュレッダー処理紙のリサイクルに努めている	3	2	6		6
1	・コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図っている	3	2	6		6
1	・発生したごみは可能な限り、圧縮等を行い、減量している	3	2	6		6
1	・回収した資源ごみがリサイクルされるよう確認している（委託業者等に対して）	3	2	6		6
	・食堂等における食べ残し、食品残渣等の有機物質については可能な限りコンポスト化（堆肥化）し、土壌に還元、利用している			—		—
	・廃食用油のリサイクルルートを確認し、せつけん等への再利用を行っている			—		—
				—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

③産業廃棄物等の適正処理

小項目結果 12 / 12

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
1	・廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行っている	3	2	6		6
1	・廃棄物の最終処分先を定期的に、直接、確認している	3	2	6		6
	・メタン発生防止のため、生ごみ等の分別・リサイクルや適正な焼却処分を極力行うことにより、有機物の埋立処分を抑制している			—		—
	・廃棄物焼却の際、塩化ビニール等焼却に適さない物が混入しないよう徹底するとともに、ばい煙の処理、近隣環境への配慮等を行っている			—		—
				—		—
				—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

3) 排水処理、水質汚濁等の防止

中項目結果 2 / 4

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
1	・施工方法や作業方法を見直し、水質汚濁の少ない方法に変更している	1	1	1		2
	・水質汚濁の少ないプロセスや機械設備（濁水の回収・再利用等）を採用している			—		—
1	・排水処理装置を適切に設置している	1	1	1		2
	・排水が閉鎖性水域（湖、内湾等）に流入する場合は、窒素及び磷の除去対策を講じている			—		—
	・オイルフェンスの設置等、排水の汚濁防止対策を行っている			—		—
	・有害物質や有機汚濁物質（生ごみ等）ができるだけ混入しないようにしている			—		—
	・水質汚濁等について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている			—		—
	・排水等の監視及び測定や排水処理設備の点検を定期的に行い、適正に管理している			—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

4) その他生活環境に係る保全の取組等

中項目結果 14 / 14

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
1	・建設現場等周辺の生活環境に影響の少ない時間帯での施工を行っている	2	2	4		4
1	・建設現場等周辺の生活環境に影響の少ない施工方法や作業方法を検討し、施工している	2	2	4		4
	・建設現場等周辺の生活環境に影響の少ない工法を提案し、採用している			—		—
	・悪臭防止のため排出口の位置等の配慮を行っている			—		—
1	・低騒音・低振動型建設機械等の使用、防音・防振設備の設置・管理等により騒音・振動を防止するとともに、日常的な監視及び測定を実施している	3	2	6		6
				—		—
				—		—
				—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

3. 製品及びサービスに関する項目

大項目結果 65 / 80

1) グリーン購入（環境に配慮した物品等の購入、使用等）

中項目結果 19 / 24

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
1	・環境に配慮した物品等の調達に係る方針、基準等を作成し、それらに基づき物品リストを作成し、リストに基づく購入を行っている	2	1	2		4
	・再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等を購入している			—		—
	・環境ラベル認定等製品を優先的に購入している			—		—
1	・省エネルギー基準適合製品を購入している	2	2	4		4
1	・再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している	2	2	4		4
	・間伐材、未利用資源等を利用した製品を積極的に購入、使用している			—		—
	・無漂白製品（衣料品等）、水性塗料等の環境への負荷の少ない製品を優先的に購入、使用している			—		—
	・修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入、使用している			—		—
	・節水型の家電製品、水洗トイレ等を積極的に購入している			—		—
1	・コピー用紙、コンピューター用紙、伝票、事務用箋、印刷物、パンフレット、トイレトペーパー、名刺等の紙について、再生紙または未利用繊維への転換を図っている	3	2	6		6
	・木材の調達にあたり、跡地の緑化、植林、環境修復が適切に行われていることに配慮したり、または跡地緑化等を考慮したりしている			—		—
1	・社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車等の低公害車への切り換えに取り組んでいる	3	1	3		6

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

2) 施工・販売・提供する製品及びサービスにおける環境配慮

①設計、計画等における取組

中項目結果	46	／	56
小項目結果	22	／	26

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・建設現場等の事前環境調査の実施及び対策を実施している			—		—
	・環境配慮型工法の採用や環境配慮型施工の提案をしている			—		—
	・建設現場等周辺の自然との共生と調和を指向している			—		—
	・建築物・工作物等の長寿命化を指向している			—		—
	・建築物・工作物等の使用過程でのエネルギーの削減と省資源化を指向している			—		—
	・再生資源の積極的利用に取り組んでいる			—		—
1	・リサイクルしやすいよう、建築物・工作物の構造を指向している	3	1	3		6
1	・有害性の化学物質の含有量が少ない資材の使用を指向している	3	2	6		6
	・塩素系有機溶剤等の削減、代替物質への転換を行っている			—		—
	・購入する資材の仕様を変更し、端材等の削減に取り組んでいる			—		—
1	・敷地内、壁面、屋上等の緑化を指向している	3	2	6		6
	・地域の自然環境との調和に配慮し、生態系や景観の保全について指向している			—		—
1	・環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化への取組を指向している（合板型 枠等の木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用等）	1	1	1		2
1	・環境にやさしい施工や工法を採用している	3	2	6		6
				—		—
				—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

②出荷、運搬、輸送等における取組

小項目結果	12	／	18
-------	----	---	----

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・帰り荷や複数現場への共積み、乗り合いを励行している			—		—
1	・エコドライブ等運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジ ン停止等）を励行している	3	2	6		6
1	・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値（メーカー指定の空気圧）を保つように努め ている	3	1	3		6
1	・排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている	3	1	3		6
	・共用自転車を導入して、近距離の用務には社用車を使用せず、自転車を利用するように 努めている			—		—
	・公共交通機関の利用等により、社用車の使用削減に努めている			—		—
				—		—
				—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

③製品の回収・リサイクル

小項目結果	0	／	0
-------	---	---	---

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・使用後の製品、容器包装等の回収・リサイクルに取り組んでいる			—		—
	・フロン類の漏洩防止のための留意点等、製品に関する環境への負荷を低減するための消 費者への情報提供を行っている			—		—
	・消耗品の回収箱等を店頭に設置する等、その回収・リサイクルに取り組んでいる					—
				—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

④環境配慮型商品等の販売及び情報提供

小項目結果 12 / 12

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
1	・再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省エネ・省資源型の商品、容器包装を簡素化した商品、環境ラベル認定等製品等を重点的に販売している	3	2	6		6
1	・上記商品の販売目標を定め、販売促進に積極的に取り組んでいる	3	2	6		6
	・修理部品の長期的な確保に自主的に取り組んでいる			—		—
	・消費者等に環境配慮型商品に関する情報を積極的に提供している			—		—
	・製品の使用時や廃棄時の環境負荷の量をカタログ等に表示している			—		—
	・販売の際に環境配慮型製品の表示、製品アセスメントの結果の表示等を行っている			—		—
	・外部から製品の環境負荷に関するデータの提供の依頼があった場合、協力している			—		—
	・エコマーク及び自ら制定したマークや宣言等を製品やパンフレット等に表示している			—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

2. その他

大項目結果 29 / 48

1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組

中項目結果 5 / 14

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・建設現場等及び周辺の自然環境の把握をしている			—		—
	・建設現場等及び周辺の生物多様性保全に取り組んでいる			—		—
1	・調達する原材料（木材、鉱物等）の原産地を把握している	2	0	0		4
	・原材料の生産や採掘が、現地の生物多様性に悪影響を与えるものではないか、先住民の権利は尊重されているか等についての情報を得ている			—		—
1	・調達する原材料について、認証品（森林認証、漁業認証等）の活用を指向している	3	1	3		6
1	・地元の自然資源の積極的な利用を図り、地産地消を推進している	2	1	2		4
	・事業活動が生物多様性に与える影響を公表している			—		—
	・事務所及び建設現場等周辺の環境や生き物の保全活動（生息地の整備等）等を通し、事業活動を行う地域環境への配慮を行っている			—		—
				—		—
				—		—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

2) 環境コミュニケーション及び社会貢献

中項目結果 12 / 16

①環境コミュニケーション

小項目結果 4 / 8

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組 (B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満 点 A*2
	・建設現場等周辺の自然環境等の状態を把握し、周辺地域の関係者に説明し、情報を共有する			—		—
	・建設現場等周辺の生物多様性保全の取組を、地域と協働して取り組んでいる			—		—
1	・事業活動に伴う重要な環境負荷、環境に関する主要な目標、環境担当者の連絡先等を公表している	1	1	1		2
1	・消費者等に対して、情報提供や啓発活動を行っている	1	1	1		2
	・外部からの情報提供、公表の依頼に対する窓口を置いている			—		—
1	・ホームページ上で環境に関する情報を提供している	2	1	2		4
	・意見聴取を定期的に行い、環境への取組の際に考慮している			—		—
	・外部関係者の意見を聴取する窓口を設けている			—		—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

②社会貢献

		小項目結果	8		8	満点 A*2
関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	
	・事務所及び建設現場等周辺の景観や生物多様性保全に取り組んでいる			—		—
	・環境に関する基金・団体の設置、既存の基金・団体を支援している（人材派遣、資金面での援助、従業員の給与の端数を集めた寄付、広報活動への協力等）			—		—
	・環境関係の基金等へのマッチングギフト（従業員労働組合等の任意の寄付と同額の寄付を事業主として行うこと）を行っている			—		—
1	・地域のボランティア活動等に積極的に参加し、協力や支援を行っている	2	2	4		4
	・環境に関する研究や活動を行っているサークル等に対する支援、または協働を行っている			—		—
	・環境に関連する表彰制度を実施している			—		—
	・大学に環境関係の寄附講座を開く等、研究機関への支援を行っている			—		—
1	・敷地内、壁面、屋上等の緑化を行っている（大気浄化、都市気象の緩和にも資する）	2	2	4		4
				—		—
				—		—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体等にあたっての環境配慮

①設計者及び施工業者（工務店、建設会社等）への依頼・協力要請

中項目結果	12	／	18
小項目結果	3	／	6

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満点 A*2
1	・環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化等（合板型枠等の木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用等）を依頼している	3	1	3		6
	・周辺の自然環境（動植物等）への影響を最小限に抑える、もしくは修復する等環境に配慮した施工計画の提案を依頼している			—		—
				—		—
				—		—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力して下さい。

②既存建築物が及ぼす環境への影響を予防、低減するための方策

小項目結果	9	／	12
-------	---	---	----

関連 有無	具体的な取組	重要度 (A) 3, 2, 1	取組(B) 2, 1, 0	評価点 A*B	取組 項目	満点 A*2
1	・建築物の老朽化や運用の診断を行い、改善や環境保全設備の見直しを行っている	3	1	3		6
1	・建築物の耐久性の向上に取り組んでいる	3	2	6		6
	・排水設備のメンテナンス、吹き付けアスベストの管理（特に解体時の事前除去）等を行っている			—		—
				—	○	—
				—		—
				—		—

このみ「1」を入力して下さい。

							遵守評価日:	2024年10月1日		承認	作成
							作成日:	2023年9月1日		寺元	岡本
※空欄は当年度該当なし ※確認欄は法規遵守確認											
環境法規制等の名称/略称	規制内容			適用	実 施		文書・記録(例) 【有資格担当者】	確 認			
	届出、作業等	適用範囲	適用条件		手続き・順守事項	実施日					
廃 棄 物 処 理 ・ リ サ イ ク ル											
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理	産業廃棄物	汚でい、廃油、廃プラ、建設木くず、建設紙くず、建設繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類、ゴムくず、 コンクリート破片など 「石綿含有(重量比0.1%超)産業廃棄物」 「リース業に係る木くず及び運送用パレットに係る木くず」(平成20年4月1日施行)	○	委託基準 1. 委託先の許可確認	9月3日	・収集運搬及び処分業者の許可証の確認 ・中間処理場等の現地確認	藤原	門積		
				○	委託基準 2. 委託契約の締結 3. 契約書の5年間保存	9月3日	・委託契約書の内容確認(委託金額、産業廃棄物の種類、性状、性状等変更情報の伝達方法等)	藤原	門積		
				○	マニフェストの交付 1. 交付義務	9月3日	・適合マニフェストを使用	藤原	門積		
				○	・マニフェストの交付 2. 回収・照合(発行後B2,D票90日E票180日以内) 3. 保管(5年間) ・未回収戻り票の報告 ・「交付状況報告」(平成19年度実績、平成20年6月30日までに)	9月3日	・マニフェスト管理台帳にて回収日の管理、A票の照合欄チェック。(回収期間内に返送され、法定事項記載確認済み) ・措置内容等報告書(知事へ)	藤原	門積		
	廃棄物の処理	廃棄物	現場保管又は仮置場	○	野外焼却の禁止	9月3日	・遵守事項と同じ	藤原	門積		
				○	積み上げ高さの厳守、雨、風、悪臭発生に対する養生、保管場所の掲示板設置	9月3日	・遵守事項と同じ	藤原	門積		
再生資源利用省令	解体工事、土工事、外構工事	指定副産物::建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊の利用	【再生資源利用計画の作成】 ・体積が1000m3以上である土砂 ・重量が500tである砕石 ・重量が200t以上である加熱 アスファルト混合物	○	指定建設資材と再生資源の利用量の把握等による計画の作成と実施記録の保存(1年間)	9月3日	・遵守事項と同じ	藤原	門積		
指定副産物利用促進省令	解体工事、土工事、外構工事型砕工事、木工事	指定副産物::建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材の利用	【再生資源利用促進計画の作成】 ・体積が1000m3以上である建設発生土 ・重量が200t以上であるコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材	○	指定副産物に係る搬出量と再資源化施設への搬出量等計画の作成	9月3日	・遵守事項と同じ	藤原	門積		

環境法規制等の名称/略称	規制内容			適用	実 施		文書・記録(例) 【有資格担当者】	確 認	
	届出、作業等	適用範囲	適用条件		手続き・順守事項	実施日			
建設リサイクル法	・解体工事-80㎡以上・新築・増築工事-500㎡以上・修繕・模様替工事-1億円以上・その他の工作物に関する工事(土木工事等)-500万円以上	新築工事及び解体改修工事	【特定建設資材】・コンクリート(プレキャスト鉄筋コンクリート版を含む)、木材、アスファルトコンクリート	○	・発注者への書面による計画等説明・工事着手する日の7日前までに必要事項を都道府県知事に届け出・発注者へ書面による完了報告 ・分別解体等 ・再資源化等の促進 ・再生資源の使用	9月3日	・発注者への計画等説明書と完了報告書 ・下請負者への告知書 ・知事への届出書(条例規定)	藤原	門積
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し、家電リサイクル券発行		エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機	該当なし	家電廃棄時	該当なし		—	—
大気汚染防止法	特定工事(特定粉じん排出等作業を伴う建設工事)に該当するか否かの調査		建築物を解体・改造・補修する作業を伴う工事の元請業者	○		9月3日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
	上記工事調査結果等を発注者に書面を交付して説明			○	工事開始部または14日前まで	9月3日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
	調査記録及び発注者に交付した書面の写しを保存			○	工事完了後3年間	10月19日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
	調査結果等の工事現場での掲示			○	工事施行時	10月19日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
	都道府県知事への報告		一定の解体等工事の場合	○	解体工事等の事前調査の後遅滞なく	10月19日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
	特定粉じん排出等作業の届出		一定の特定建築材料に係る特定粉じん排出作業を伴うもの	○	特定粉じん排出等作業の開始14日前まで	10月19日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
	特定粉じん排出等作業の結果の発注者への書面での報告(作業記録を作成し、書面の写とともに工事終了後3年間保存)			○	特定粉じん排出等作業が完了したとき	3月25日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
＜同意するその他の要求事項＞									
建設廃棄物処理マニュアル	産業廃棄物の処理、委託	産業廃棄物	汚でい、廃油、廃プラ、建設木くず、金属くず、ガラスくず建設廃材、ゴムくず、コンクリート破片など	○	マニフェストに基づく適正処理の実施	9月3日	収集運搬業者、処分業者の許可証確認、中間処理場、最終処分場の確認	藤原	門積
建設副産物適正処理推進要綱	建設副産物が発生する建設工事	建設副産物が発生する建設工事	建設発生土建設廃棄物	○	・発注者との連絡調整・管理及び施工体制の整備・協力業者の指導等 ・「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成・実施状況の記録を1年間保管	9月3日	「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」の作成・実施状況の記録	藤原	門積

環境法規制等の名称/略称	規制内容			適用	実 施		文書・記録(例) 【有資格担当者】	確 認	
	届出、作業等	適用範囲	適用条件		手続き・順守事項	実施日			
建築物の解体等に 係る石綿飛散防止 対策マニュアル	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業等	建築物の解体等の石綿飛散防止	大気汚染防止法に定める「特定建築材料(石綿等)」使用の建築物、工作物	該当なし	排出の抑制に努めるとともに、国及び地方公共団体の施策に協力	9月3日		—	—
その他の公害対策法									
フロン排出抑制法	解体工事(改修工事)	冷媒用フロンの回収・破壊の措置	エアコン、冷蔵・冷凍機器(ショーケース、自販機、冷水器等々含む)	該当なし	・解体前に設置有無を確認、発注者に書面説明 ・機器の廃棄を委託された場合「委託確認書」の受理と写しの保存及びフロン回収業者の「引取証明書」の受理と写しの保存(3年間)(平成19年10月1日施行)	該当なし	「事前確認書」(交付年月日・元請業者名等・発注者名等・機器設置有無の確認結果)	—	—
	事務所における3ヶ月毎の自主点検	すべての空調設備	空調設備	○	・管理者みずから異常振動、外観の損傷等、油にじみ、熱交換器の霜付き等の点検を行う	3ヶ月毎	簡易点検記録簿	寺元	
建築基準法	内装仕上げ・換気設備及び天井裏等の工事	内装工事、空調設備工事	クロルピリホス、ホルムアルデヒド、石綿含有建材	○	・石綿含有建材の使用禁止 ・クロルピリホス添加建材の使用禁止 ・ホルムアルデヒドに関する規制 ①内装仕上げの規制 ②換気設備の義務付 ③天井裏等の制限	9月3日		藤原	門積
騒音・振動									
騒音規制法	杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	・特定建設作業・適用指定地域		○	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて85デシベル以下	9月3日	・市町村へ事前確認 ・届出書(規則様式第9、但し条例等上乗せ規定有り)	藤原	門積
振動規制法	杭打ち機、くい抜き機、ブレーカー、舗装版破砕機を使用する作業	・特定建設作業・適用指定地域		○	・知事へ7日前までに届け出 ・作業敷地境界にて75デシベル以下	9月3日	・市町村へ事前確認 ・届出書(規則様式第9、但し条例等上乗せ規定有り)	藤原	門積
水質汚濁(排水)									
水質汚濁防止法	生コンクリートプラント、砕石、砂利プラント	公共用水域へ排水する施設の設置	生コンクリートのパッチャープラント、砕石の水洗破砕施設、水洗式分別施設、砂利採取の水洗分別施設(「特定施設」)	該当なし	・知事に60日前までに届け出 ・排水基準(排水基準を定める総理府令)測定を実施し記録する。	該当なし	・届出書(規則様式第1、但し条例等上乗せ規定有り) ・仮設排水設備の監視 ・セメント、モルタル排水の地下浸透防止の中和処理	—	—
下水道法	公共下水道への排水	公共下水道への排水	一日50m3以上の汚水を公共下水道に排水する場合	該当なし	・公共下水道管理者にあらかじめ届け出 ・排水基準(有害物質は排水基準を定める総理府令)、生活環境項目については、条例による。	該当なし	・届出書は条例等規定 ・沈砂槽等設備の設置及び監視(泥水の排水抑制)	—	—

環境法規制等の 名称/略称	規制内容			適用	実 施		文書・記録(例) 【有資格担当者】	確 認	
	届出、作業等	適用範囲	適用条件		手続き・順守事項	実施日			
河川法	河川への排水	河川への排水	一日50m3以上の汚水を河川に排水する場合	該当なし	河川管理者にあらかじめ届出	該当なし	・届出書(規則様式第8の3、但し条例等上乗せ規定有り) ・沈砂槽等設備の設置及び監視(汚水の排水抑制)	—	—
そ の 他 関 連 法 令									
消防法 (危政令)	少量危険物の取扱い	少量危険物の貯蔵・取扱の基準	指定数量とは、 第1石油類 ガソリン等:200L アルコール類:400L 第2石油類 灯油、軽油等:1000L 第3石油類重油等2000L 第4石油類シンダー油等6000L	該当なし	市町村条例(火災予防条例)で定める。 (準則) 指定数量の1/5以上、指定数量未満の場合、あらかじめ消防長(消防署長)に届け出	該当なし	・少量危険物の貯蔵・取扱数量チェック	—	—
	指定可燃物の取扱い	指定可燃物の貯蔵・取扱の基準	木材加工品及び木くず:10m3以上等	該当なし	市町村条例(火災予防条例)で定める。(準則) 指定数量の5倍以上の場合、あらかじめ消防長(消防署長)に届け出	該当なし	指定可燃物の貯蔵・取扱時の管理 数量チェック	—	—
労働安全衛生法 (石綿規則)	事前調査、分析調査、作業場への調査終了等の掲示			○		10月19日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
	事前調査結果報告(電子申請等による所轄労働基準監督署への報告)			○		10月19日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
	所轄労働基準監督署への報告		吹付け石綿の除去、封じ込め又は囲い込みの作業等	○	作業を行う前	10月19日	・遵守事項と同じ	藤原	門積
<同意するその他の要求事項>									
学校環境衛生の 基準	学校の新築・改築・改修工事	全ての学校	【測定項目】 (必須)ホルムアルデヒド、トルエン (任意)キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン	○	・ホルムアルデヒド 100 μ g/m3以下 ・トルエン 260 μ g/m3以下 ・キシレン 870 μ g/m3以下 ・パラジクロロベンゼン 240 μ g/m3以下 ・エチルベンゼン 3800 μ g/m3以下 ・スチレン 220 μ g/m3以下	9月3日	・測定の事前確認(着工時) ・建設資材の選別確認(特に接着剤等) ・換気の励行 ・「日本住宅性能表示基準・空気環境」参考	—	—
災害応援協定	災害時における応急対策業務に関する協定	兵庫県内	災害時	○	・災害時において兵庫県からの要請に応じ、人員、資材等の応援を行う	9月3日	・災害時における応急対策業務に関する協定	寺元	

2023 年度 環境経営計画書（全社）

作成日：2023年9月1日
更新日：2024年10月1日

承認	確認	作成
代表者	環境管理責任者	環境事務所

方針	目 標		目標達成手段		責任部門 (担当者)	スケジュール												取組評価 (計)	定期的な確認・評価・是正(挽回策)		
	(方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)		(取組の自己チェックで◎をつけた項目)			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減		・冷暖房温度を適正にする ・設備点検・フィルターの清掃を行う(毎月1回) ・不要照明の消灯を行う ・パソコンの省電力モードの活用		総務 寺元	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○点検	○	1/4 中期	全社では順調に目標をクリアしているが、姫路支店において、目標値をオーバーしている。引き締めを行いたい	
	基準年度実績	41,492 kWh												○調査	○検討	○改善	○				
	2022 年	17,264 kg-CO2												○調査	○検討	○改善	○				
	使用する二酸化炭素排出係数:		0.416 kg-CO2/kWh											○調査	○検討	○改善	○				
	2023 年度目標			基準年 kWh	4,005	2,943	2,869	3,403	4,070	4,534	3,945	3,403	2,705	2,238	3,371	4,006	41,492		上半期	全社では順調に目標をクリアし、姫路支店においも目標値をクリアしている。引き締めを行いたい	
	基準年度比	98%		基準年 kg-CO2	1,664	1,223	1,193	1,418	1,697	1,889	1,642	1,415	1,125	930	1,403	1,665					
	削減率	-2.0%		(累計)	1,664	2,887	4,080	5,499	7,196	9,084	10,726	12,141	13,266	14,196	15,599	17,264					
	目標値	16,918 kg-CO2		目 標 (月別)	1,631	1,199	1,169	1,390	1,663	1,851	1,609	1,387	1,102	911	1,375	1,631			3/4 中期	全社では順調に目標をクリアしているが、本社で目標をオーバーしている。本社でも引き締めを行う。	
	40662 kWh		(累計)	1,631	2,830	3,999	5,389	7,052	8,902	10,512	11,898	13,000	13,912	15,287	16,918						
	2024 年度目標	16,573 kg-CO2	96%	今期 kWh	2,624	2,780	2,739	3,689	3,587	4,082	3,725	2,969	2,358	2,315	2,522	3,463	36,853		総括	一部、オーバーした月もあるが、全社で順調に目標をクリアした。	
2025 年度目標	16,401 kg-CO2	95%	今期 kg-CO2	1,089	1,154	1,140	1,541	1,498	1,703	1,554	1,236	981	963	1,051	1,445						
			(累計)	1,089	2,243	3,383	4,924	6,422	8,126	9,679	10,915	11,896	12,859	13,909	15,354	89%					
			月次評価	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○				
			累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
自動車燃料による二酸化炭素削減	自動車燃料による二酸化炭素削減		・エコドライブの励行 ・アイドリングストップの励行 ・エリア別営業活動の見直し		総務 寺元									○調査	○検討	○改善	○	1/4 中期	現場事務所が遠方の工事が多く、車での移動が避けられないこともあり目標達成が困難であった。		
	基準年度実績													○調査	○検討	○改善	○				
	2022 年	ガソリン 33,092 ℓ 軽油 2,075 ℓ 82,273 kg-CO2												○調査	○検討	○改善	○				
	使用する二酸化炭素排出係数:		kg-CO2/L											○調査	○検討	○改善	○				
	ガソリン	2,322		基準年ガソリン L	2,817	2,736	3,231	3,358	3,195	3,003	2,663	2,590	2,623	2,800	2,655	1,421	33,092		上半期	取引先や現場事務所が遠方であった。	
	軽油	2,619		軽油 L	221	79	317	115	141	112	104	255	182	295	140	115	2,075				
				(月別) kg-CO2	221	300	617	732	873	985	1,089	1,344	1,525	1,820	1,960	2,075					
				(累計) kg-CO2	7,120	6,558	8,333	8,100	7,786	7,266	6,455	6,682	6,566	7,274	6,930	6,061	82,273			3/4 中期	エコドライブ推奨などをアナウンスするなど取組みを継続。
	2023 年度目標			目 標 (月別)	7,120	13,678	22,011	30,111	37,897	45,163	51,618	58,300	64,866	72,140	78,672	82,273					
	基準年度比	98%		(累計) kg-CO2	6,978	6,427	8,166	7,938	7,631	7,120	6,326	6,549	6,434	7,129	6,402	3,529	80,627				
削減率	-2%		(累計)	6,978	13,405	21,571	29,509	37,139	44,260	50,586	57,134	63,568	70,697	77,099	80,627						
目標値	80,627 kg-CO2		今期実績ガソリン L	2,321	2,760	21,707	2,873	2,515	2,776	2,510	2,487	1,771	2,292	736	2,503	47,253		総括	本社では目標達成したが、姫路支店から工事現場事務所への移動頻度及び移動距離が多かったため目標達成が困難であった。引き続き取組みを継続し、社内で共有していきたい。		
2024 年度目標	79,805 kg-CO2	97%	軽油 L	158	64	77	142	159	104	59	68	373	115	102	76	1,497					
2025 年度目標	78,982 kg-CO2	96%	(月別) kg-CO2	5,803	6,575	50,606	7,042	6,258	6,717	5,982	5,953	5,091	5,626	1,977	6,011	113,641					
			(累計) kg-CO2	5,803	12,378	62,985	70,026	76,284	83,002	88,984	94,937	100,027	105,653	107,630	113,641	138%					
			月次評価	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
			累計評価	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				

方針	目 標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者 (担当者)	スケジュール												取組評価 (計)	定期的な確認・評価・是正(挽回策)
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	・分別の徹底 ・シュレッダー廃紙のリサイクル化 ・燃費見直しによる印刷物の削減 ・梱包材の再利用	総務 寺元								ースタート					○	顧客が紙媒体を希望する様式が多く、又守秘義務もあり裏紙利用が難しかったため目標達成が困難であった。
	基準年度実績 2022 年 385 kg										ースタート					○	
	2023 年度目標 基準年度比 95% 削減率 -5% 目標値 365 kg										ースタート	引き取り				△	目標数値を大幅には超過しなかったが取組みの見直しを行い、ミスプリントの減少など情報共有していく。
											見直し作業		○変更			×	
		【目標未達成時の挽回策】	基準年 kg	37	30	22	41	38	22	34	32	23	36	34	37	385	基準年を下回る月もあり、取組み継続。
		・	(累計)	37	67	89	130	168	190	224	255	278	314	348	385		
		・	目 標 (月別)	35	29	21	39	36	20	32	30	22	34	32	35	365	
		・	(累計)	35	64	85	124	160	180	212	242	264	298	330	365		
	2024 年度目標 358 kg 93%	・	【中期計画】														全体を通しては目標達成できなかったため社内にフィードバックして追加の対策を検討したい。
	2025 年度目標 346 kg 90%	・	・前面コピー機の購入	40	35	20	46	28	12	30	29	23	45	40	32	377	
		・	(累計)	40	75	94	140	168	180	209	238	261	305	345	377	98%	総括
		・	月次評価	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
		・	累計評価	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	事業内容により増減があるため達成できなかった。
	産業廃棄物の削減(リサイクル率)	・作業ミスによる廃棄量の削減 ・素材別ボックスの設置 ・リサイクル業者の開拓	建築部 門積													○	
	基準年度実績 2022 年 56%															△	上 半 期
	2023 年度目標 基準年度比 120% 削減率 20% 目標値 46%															×	
		【目標未達成時の挽回策】	基準年 リサイクル率	0.00%	69.27%	79.91%	18.24%	2.28%	0.34%	97.99%	0.00%	0.00%	0.00%	75.44%	48.93%	55.97%	分別の徹底により目標達成可能であるとアナウンスし取組みを継続する。
		・	(累計)	0.00%	18.64%	28.58%	27.99%	23.91%	20.38%	55.09%	53.86%	53.25%	52.99%	56.19%	55.97%		
		・	目 標 (月別)	0.00%	57.53%	66.36%	15.15%	1.89%	0.28%	81.38%	0.00%	0.00%	0.00%	62.65%	40.63%	46.48%	概ね目標達成できた。
		・	(累計)	0.00%	15.48%	23.74%	23.25%	19.86%	16.93%	45.75%	44.73%	44.22%	44.01%	46.68%	46.48%		
	2024 年度目標 69% 123%	・	【中期計画】														概ね目標達成できた。
	2025 年度目標 70% 125%	・	・金型の改善	82.06%	41.27%	0.00%	16.13%	66.77%	79.42%	73.15%	18.75%	40.07%	0.00%	0.00%	40.78%	67.39%	
		・	(累計)	82.06%	77.58%	75.12%	72.45%	71.80%	73.05%	73.06%	71.69%	71.12%	70.12%	68.78%	67.39%	120.41%	総括
		・	月次評価	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	
		・	累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水 使 用 量 削 減
水道水の削減	水道水の削減	・節水シールの貼り付けとポスター掲示 ・トイレの洗浄水の節水用具の活用 ・洗車時の節水の徹底 ・トイレに超音波装置取り付け	総務 寺元													○	顧客が紙媒体を希望する様式が多く、又守秘義務もあり裏紙利用が難しかったため目標達成が困難であった。
	基準年度実績 2022 年 132 m															×	
	2023 年度目標 基準年度比 95% 削減率 -5% 目標値 125 m															○	目標数値を大幅には超過しなかったが取組みの見直しを行い、ミスプリントの減少など情報共有していく。
																×	
		【目標未達成時の挽回策】	基準年 m	12.5	12.5	12.5	11.5	10.0	10.0	11.0	11.0	9.0	9.0	11.5	11.5	132.0	基準年より微増ではあるが目標達成困難であった。
		・	(累計)	12.5	25.0	37.5	49.0	59.0	69.0	80.0	91.0	100.0	109.0	120.5	132.0		
		・	目 標 (月別)	11.9	11.9	11.9	10.9	9.5	9.5	10.5	10.5	8.6	8.6	10.9	10.9	125.4	年間目標は達成できたが、節水シールの貼替などで周知継続していく。
		・	(累計)	11.9	23.8	35.6	46.6	56.1	65.6	76.0	86.5	95.0	103.6	114.5	125.4		
	2024 年度目標 121 m 92%	・	【中期計画】														総括
	2025 年度目標 119 m 90%	・	・雨水利用による植木の水やり	18.0	1.0	14.0	1.0	15.0	1.0	16.0	3.0	16.0	1.0	21.0	2.0	109.0	
		・	(累計)	18.0	19.0	33.0	34.0	49.0	50.0	66.0	69.0	85.0	86.0	107.0	109.0	83%	省エネ住宅の受注実績は無く、目標件数に届かなかった
		・	月次評価	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	
		・	累計評価	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	実績なし
環境に配慮した生産	次世代省エネルギー型住宅設計目標達成	・ホームページにて弊社次世代型省エネ住宅の利便性、優位性を知ってもらう ・一般住家建築目的の顧客に対しては、省エネ効果を出来るだけお約束する ・省エネ住宅リフォームも推進する	営業 中谷													○	
	2024 年度目標 1 棟 /年															×	省エネ住宅の受注実績は無く、目標件数に届かなかった
	2025 年度目標 1 棟 /年															×	
			目 標 件	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	総括
			今期実績 件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			評価			×											年間活動計画
	環境教育	・環境方針・目標・活動計画の周知	環境事務局	●2							●					○	
	幹部教育	・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価	環境管理責任者			○				○			●			○	BCP訓練時に対応訓練実施
	特別教育	・資格取得・更新のため研修会参加	環境事務局										●	●		×	
	緊急事態対応訓練	・定期的に実施(火災対応訓練〇月)	環境事務局										●	●		○	BCP訓練時に対応訓練実施
	環境関連法規等の遵守評価	・適時評価前に環境関連法規等の追加、改正を確認する	環境事務局	○									●	●		△	
	代表者による全体の評価と見直し	・振り返って方針・目標・活動計画等を見直す	代表者	○									●	●		○	計画：○(点線) 実績：●(実践)
	環境経営レポート	・作成と地域事務局への送付	環境事務局	○									●	●		○	
	審査申し込み	・余裕をもって2か月前には申込み		○									●	●		○	3か月ごとに確認し、累計評価欄が×の場合は是正策として達成手段を追加する 環境管理責任者は必要に応じて指示を行う 代表者は環境管理責任者の報告を受け必要に応じて指示をする
	会社周辺の清掃活動	・持ち回り	持ち回り	○							●	●	●	●	○		
	計画：○(点線) 実績：●(実践)		保管：環境事務局														

化学物質については取扱いがないため集計しておりません

2023 年度 環境経営計画書 (本社)

作成日: 2023年9月1日
更新日: 2024年10月1日

承認	確認	作成
代表者	環境管理責任者	環境事務局

方針	目 標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者 (担当者)	スケジュール												取組評価 (計)	定期的な確認・評価・是正(挽回策)		
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減	・冷暖房温度を適正にする ・設備点検・フィルターの清掃を行う(毎月1回) ・不要照明の消灯を行う ・窓際、不要箇所の蛍光灯の引き換えを行う ・パソコンの省電力モードの活用	総務 寺元	冷暖房温度の管理	← 暖房温度の管理 →			冷房温度の管理 →						○	1/4 中期	エアコンの点検やフィルター清掃の周期を短くして消費電力の増加を防ぐ。 一定の効果が得られていると感じた。			
	基準年度実績	21,680 kWh	○点検			○点検					○点検		△						
	2022 年	9,106 kg-CO ₂					○点検				○調査	○検討	○改善	○					
	使用する二酸化炭素排出係数:	0.42 kg-CO ₂ /kWh									○調査	○検討	○改善	△					
	2023 年度目標		基準年 kWh	1,808	1,297	1,382	1,967	2,581	2,802	2,174	1,693	1,226	1,039	1,730	1,981	21,680	上半期		
	基準年度比	98%	【目標未達成時の挽回策】	基準年 kg-CO ₂	759	545	580	826	1,084	1,177	913	711	515	436	727	832			
	削減率	-2.0%	・	(累計)	759	1,304	1,885	2,711	3,795	4,972	5,885	6,596	7,111	7,547	8,274	9,106			
	目標値	8,923 kg-CO ₂	・	目 標 (月別)	744	534	569	810	1,062	1,153	895	697	505	428	712	815	3/4 中期		
	21246 kWh	・	(累計)	744	1,278	1,847	2,656	3,719	4,872	5,767	6,464	6,968	7,396	8,108	8,923				
	2024 年度目標	8,741 kg-CO ₂	【中期計画】	今期 kWh	1,032	1,193	1,418	2,523	2,344	2,712	2,281	1,592	1,131	1,133	1,362	2,271	20,992	総括	年間目標は達成できたが、猛暑の影響で空調の設定温度を適正に保つのに難渋した。不要照明の見直しなどの取組みを検討する。
	2025 年度目標	8,650 kg-CO ₂	・消費電力の少ないものを優先的に導入する ・省エネタイプ(エネルギー効率の高い)エアコンへ更新 ・省エネ型蛍光灯へ順次交換を行う	今期 kg-CO ₂	433	501	596	1,060	984	1,139	958	669	475	476	572	954			
			月次評価	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	×	○			
			累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	自動車燃料による二酸化炭素削減	・アイドリングストップ ・効率的なルートで配送 ・エコカー等の導入推進											○調査	○検討	○改善	○	1/4 中期	エコドライブ推奨活動を継続。	
	基準年度実績												○調査	○検討	○改善	△			
	2022 年	ガソリン 16,043 ℓ 軽油 319 ℓ 38,086 kg-CO ₂		基準年ガソリン L 軽油 L	1,484	1,525	1,719	1,543	1,459	1,340	1,219	1,255	1,203	1,230	841	1,225	16,043	上半期	職員にエコドライブなどの活動意識を感じることが多くなった。目標も達成できた。
	使用する二酸化炭素排出係数:	kg-CO ₂ /L	(月別) Kg-CO ₂	89	89	282	282	282	282	282	282	282	319	319	319	319			
	ガソリン	2,322	(累計) Kg-CO ₂	3,680	3,540	4,497	3,582	3,388	3,111	2,831	2,913	2,890	2,856	1,954	2,844	38,086		3/4 中期	共同配送など声かけを意識し目標達成した。
	軽油	2,619	【目標未達成時の挽回策】	目 標 (Kg-CO ₂)	3,606	3,470	4,407	3,511	3,320	3,049	2,774	2,855	2,799	1,915	2,787	37,325			
	2023 年度目標		・	(累計)	3,606	7,075	11,483	14,994	18,314	21,363	24,137	26,992	29,824	32,623	34,538	37,325			
	基準年度比	98%	【中期計画】	今期実績ガソリン L 軽油 L	387	582	617	557	511	571	586	644	373	565	577	815	6,785	総括	社内で結果をフィードバックし取組み周知することで効果が得られたと感じる。
	削減率	-2%	・共同配送の実施 ・更新時に低燃費車を選択	(月別) Kg-CO ₂	898	1,352	1,433	1,293	1,187	1,326	1,361	1,496	867	1,311	1,341	1,992	15,855		
	目標値	37,325 kg-CO ₂	・	(累計) Kg-CO ₂	898	2,250	3,682	4,976	6,162	7,489	8,849	10,345	11,212	12,523	13,863	15,855	42%		
	2024 年度目標	36,944 kg-CO ₂	月次評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	2025 年度目標	36,563 kg-CO ₂	累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

方針	目 標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者 (担当者)	スケジュール												取組評価 (計)	定期的な確認・評価・是正(挽回策)
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	・分別の徹底 ・シュレッダー廃紙のリサイクル化 ・帳票見直しによる印刷物の削減 ・梱包材の再利用														○	事務所内不要物の整理を行い廃棄量が増加した。
	基準年度実績 2022 年 146 kg										ースタート					○	
	2023 年度目標										ースタート	引き取り				×	顧客の希望で工事内容や見積内容の修正を行うことが多く使用量、廃棄量共増加した。
	基準年度比 95%										見直し作業		○変更			×	
	削減率 -5%																
	目標値 138 kg																
	2024 年度目標 135 kg																
	2025 年度目標 131 kg																
水道水の削減	産業廃棄物の削減(リサイクル率)	・作業ミスによる廃棄量の削減 ・分別用コンテナ設置の推進 ・リサイクル業者の開拓														○	事業内容により増減があるため達成できなかった。
	基準年度実績 2022 年 56%															△	
	2023 年度目標															×	
	基準年度比 120%																
	削減率 20%																
	目標値 67%																
	2024 年度目標 69%																
	2025 年度目標 70%																
環境に配慮した生産	水道水の削減	・節水シールの貼り付けとポスター掲示 ・節水弁取り付け ・自動水栓取り付け ・トイレに擬音装置取り付け														○	節水の周知により目標達成できた。
	基準年度実績 2022 年 31 m															×	
	2023 年度目標															○	
	基準年度比 95%															×	
	削減率 -5%																
	目標値 29 m																
	2024 年度目標 29 m																
	2025 年度目標 28 m																
環境に配慮した生産	次世代省エネルギー型住宅設計目標値数	・ホームページにて弊社次世代型省エネ住宅の利便性、優位性を知ってもらう ・一般住宅建築目的の顧客に對しても、省エネ住宅を出来るだけお勧めする ・省エネ住宅リフォームも推進する														○	実績無し
	2024 年度目標 1 棟 /年															×	
	2025 年度目標 1 棟 /年															×	

2023 年度 環境経営計画書 (姫路)

コメントの表示、非表示は右クリック

作成日: 2023年9月1日
更新日: 2024年10月1日

承認	確認	作成
代表者	環境管理責任者	環境事務局

方針	目 標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者 (担当者)	スケジュール												取組評価 (計)	定期的な確認・評価・是正(挽回策)		
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月				
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減	・冷暖房温度を適正にする ・設備点検・フィルターの清掃を行う(毎月1回) ・不要照明の消灯を行う ・窓際、不要箇所の蛍光灯の引き換えを行う ・パソコンの省電力モードの活用	総務 寺元	○点検			← 冷房温度の管理 →			← 暖房温度の管理 →					○	不要照明の見直しを実施し効果が得られた。			
	基準年度実績 14,811 kWh					○点検			○点検			○点検	○調査	○検討	○改善	△	出張や直行直帰する職員が姫路支店に滞在する時間が少なかったことも要因となったが、概ね目標達成できた。		
	2022 年 6,058 kg-CO2										○調査	○検討	○改善	△					
	使用する二酸化炭素排出係数: 0.409 kg-CO2/kWh										○調査	○検討	○改善	△					
	2023 年度目標		基準年 kWh	1,663	1,142	1,096	982	1,138	1,429	1,364	1,294	1,044	904	1,132	1,623	14,811		上半期	
	基準年度比 98%		【目標未達成時の挽回策】	基準年 kg-CO2	680	467	448	402	465	584	558	529	427	370	463	664		冬季の暖房使用時に適正温度を保つ取組みに効果がみられた。	
	削減率 -2.0%		(累計)	680	1,147	1,596	1,997	2,463	3,047	3,605	4,134	4,561	4,931	5,394	6,058				
	目標値 5,937 kg-CO2		目 標 (月別)	667	458	439	394	456	573	547	519	418	362	454	651		3/4 半期		
	目標値 14515 kWh		(累計)	667	1,124	1,564	1,957	2,413	2,986	3,533	4,051	4,470	4,832	5,286	5,937				
	2024 年度目標 5,815 kg-CO2	96%	【中期計画】	今期 kWh	1,176	1,259	917	751	792	1,006	993	994	870	845	791	892	11,286	基準年を下回る月が多く目標達成できた。メンテナンス周期を早めに設定し消費電力を抑える工夫をしていきたい。	
	2025 年度目標 5,755 kg-CO2	95%	・消費電力の少ないものを優先的に導入する ・省エネタイプ(エネルギー効率の高い)エアコンへ更新 ・省エネ型蛍光灯へ順次交換を行う	今期 kg-CO2	481	515	375	307	324	411	406	407	356	346	324	365			総括
			月次評価	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	76%		
			累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	自動車燃料による二酸化炭素削減	・アイドリングストップ ・効率的なルートで配送 ・エリア別営業活動の見直し											○調査	○検討	○改善	△	現場事務所が遠方の工事が多く、車での移動が避けられないこともあり目標達成が困難であった。		
	基準年度実績												○調査	○検討	○改善	×	取引先や現場事務所が遠方であった。		
2022 年 ガソリン 17,049 ℓ												○調査	○検討	○改善	×				
軽油 1,756 ℓ															×	上半期			
軽油 44,187 kg-CO2			基準年ガソリン L	1,332	1,211	1,512	1,815	1,736	1,663	1,444	1,335	1,420	1,570	1,814	197	17,049			
使用する二酸化炭素排出係数: kg-CO2/L			軽油 L	132	79	124	115	141	112	104	255	145	295	140	115	1,756	エコドライブ推奨などをアナウンスするなど取組みを継続。		
ガソリン kg-CO2 2,322			(月別) Kg-CO2	132	211	335	450	591	703	807	1,062	1,207	1,502	1,642	1,756				
軽油 kg-CO2 2,619			(累計) Kg-CO2	3,441	3,018	3,836	4,517	4,398	4,155	3,624	3,769	3,676	4,418	4,579	757	44,187		3/4 半期	
2023 年度目標		【目標未達成時の挽回策】	目標 (Kg-CO2)	3,372	2,957	3,759	4,427	4,310	4,072	3,552	3,693	3,602	4,330	4,487	742	43,303			
基準年度比 98%			(累計)	3,372	6,329	10,088	14,515	18,825	22,897	26,449	30,142	33,744	38,074	42,561	43,303		姫路支店から工事現場事務所への移動頻度及び移動距離が多かったため目標達成が困難であった。引き続き取組みを継続し、社内で共有していきたい。		
削減率 -2%		【中期計画】	今期実績ガソリン L	1,935	2,178	21,090	2,316	2,004	2,205	1,924	1,843	1,398	1,728	159	1,688	40,467		総括	
目標値 43,303 kg-CO2		・共同配送の実施 ・更新時に低燃費車を選択	軽油 L	158	64	77	142	159	104	59	68	373	115	102	38	1,459			
2024 年度目標 42,861	97%		(月別) Kg-CO2	4,905	5,223	49,174	5,748	5,071	5,391	4,622	4,457	4,224	4,314	636	4,020	97,786			
2025 年度目標 42,419	96%		(累計) Kg-CO2	4,905	10,129	59,302	65,051	70,122	75,513	80,135	84,592	88,816	93,130	93,766	97,786	221%			
		月次評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
		累計評価	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×				

方針	目 標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)	目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)	責任部門 責任者 (担当者)	スケジュール												取組評価 (計)	定期的な確認・評価・是正(挽回策)
				9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	・分別の徹底 ・シュレッダー産紙のリサイクル化 ・帳票見直しによる印刷物の削減 ・梱包材の再利用														○	顧客が紙媒体を希望する様式が多く目標達成が困難であった。
	基準年度実績 2022 年 207 kg kg										ースタート					△	
	2023 年度目標 基準年度比 95% 削減率 -5% 目標値 197 kg										ースタート	引き取り				×	目標数値を大幅には超過しなかったが取組みの見直しを行い、ミスプリントの減少など情報共有していく。
											見直し作業		○変更			×	
																	基準年を下回る月もあり、取り組み継続。
																	全体を通しては目標達成できなかったため支店内にフィードバックして追加の対策を検討したい。
																	総括
水使用量削減	水道水の削減	・節水シールの貼り付けとポスター掲示 ・節水弁取り付け ・自動水栓取り付け ・トイレに擬音装置取り付け														○	取組みの周知が不十分であったと感じたため、会議等で定期的にアナウンスしていく。
	基準年度実績 2022 年 101 m															×	
	2023 年度目標 基準年度比 95% 削減率 -5% 目標値 96 m															△	前年を概ね下回る結果であった。
																×	
																	取組みの効果が得られたと感じられるようになった。
																	年間は昨年より使用料減少した。他項目同様社内に結果をフィードバックし取組みの共有を継続していきたい。
																	総括

2023 年度 環境経営計画書 (大阪)

コメントの表示、非表示は右クリック

作成日: 2023年9月1日
更新日: 2024年10月1日

承認	確認	作成
代表者	環境管理責任者	環境事務局

方針	目 標 (方針に掲げた取組項目は必ず挙げる) (負荷の自己チェックで特定した項目)		目標達成手段 (取組の自己チェックで◎をつけた項目)		責任部門 責任者 (担当者)	スケジュール												取組評価 (計)	定期的な確認・評価・是正(挽回策)
	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月						
二酸化炭素排出量削減	電力による二酸化炭素削減		・冷暖房温度を適正にする ・設備点検・フィルターの清掃を行う(毎月1回) ・不要照明の消灯を行う ・窓際、不要箇所の蛍光灯の引き換えを行う ・パソコンの省電力モードの活用		総務 寺元	←冷房温度の管理→		←暖房温度の管理→								○	1/4 中期	目標数値をほぼ達成できている。	
	基準年度実績	5,001 kWh				○点検		○点検			○点検			○	△				
	2022 年	2,100 kg-CO2									○調査	○検討	○改善		△	上 半 期	冬季の暖房使用料が多く目標数値を超過した。		
	使用する二酸化炭素排出係数:	0.42 kg-CO2/kWh									○調査	○検討	○改善		×				
	2023 年度目標		基準年 kWh	534	504	391	454	351	303	407	416	435	295	509	402	5,001	△		
	基準年度比	98%	【目標未達成時の挽回策】		基準年 kg-CO2	224	212	164	191	147	127	171	175	183	124	214	169	3/4 中期	節電の取組みを継続できた。
	削減率	-2.0%	・		(累計)	224	436	600	791	938	1,066	1,236	1,411	1,594	1,718	1,932	2,100		
	目標値	2,058 kWh	・		目 標 (月別)	220	207	161	187	144	125	168	171	179	121	210	165	3/4 中期	エアコンの設定温度や風量を工夫することで概ね目標数値を達成した。機器リモコンに設定ないように印字シール貼付し今後も継続したい。
	4901 kWh	・		(累計)	220	427	588	775	920	1,044	1,212	1,383	1,562	1,683	1,893	2,058			
	2024 年度目標	2,016 kg-CO2	96%	【中期計画】		今期 kWh	416	328	404	415	451	384	451	383	357	337	369	300	4,575
2025 年度目標	1,995 kg-CO2	95%	・消費電力の少ないものを優先的に導入する ・省エネタイプ(エネルギー効率の高い)エアコンへ更新 ・省エネ型蛍光灯へ順次交換を行う		今期 kg-CO2	175	138	170	174	189	153	189	181	150	142	155	126		
			・		(累計)	175	312	482	656	846	999	1,188	1,349	1,499	1,641	1,796	1,922	91%	
			・		月次評価	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	
			・		累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
廃棄物排出量削減	二般廃棄物の削減		・分別の徹底 ・シュレッダー産紙のリサイクル化 ・帳票見直しによる印刷物の削減 ・梱包材の再利用							一スタート						○	1/4 中期	年度初月はファイリングなど作業が煩雑になり増加した。	
	基準年度実績											一スタート		引き取り		×			
	2022 年	32 kg										見直し作業		→	○変更	×	上 半 期	紙媒体から電子メール送信に置き換え可能な様式の見直しを行ったが成果がみられなかった。	
	2023 年度目標		基準年 kg	2	3	2	3	2	3	3	2	3	3	3	3	32			
	基準年度比	95%	【目標未達成時の挽回策】		(累計)	2	5	7	10	12	15	18	21	23	26	29	32	3/4 中期	ミスプリントの裏紙再利用など取組みを徹底したため目標達成できた。
	削減率	-5%	・		目 標 (月別)	2	3	2	3	2	3	3	2	3	3	3	30		
	目標値	30 kg	・		(累計)	2	5	7	10	11	14	17	20	22	25	28	30	総 括	
	2024 年度目標	30	93%	【中期計画】		今期実績(月別)	2	1	2	2	1	2	2	2	2	2	1		20
	2025 年度目標	29	90%	・両面コピー機の購入		(累計)	2	3	5	7	8	10	11	13	15	17	19	20	63%
				・		月次評価	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
			・		累計評価	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

様式:4-01 環境への負荷の自己チェック表(補助資料)

環境負荷調査表(全社)

様式更新日: 2024年10月1日

□売上高・生産高・総費用

事業年度を自社の期初～期末月に変更する

基準年度と今期のデータを入力

指 標		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
売上高	2022年	千円	13,331	70,188	7,780	83,616	16,671	153,726	271,215	177,655	778,914	26,864	217,189	1,016,876	2,834,025
	累計		13,331	83,519	91,299	174,915	191,586	345,312	616,527	794,182	1,573,096	1,599,960	1,817,149	2,834,025	
	今期		10,580	44,463	117,081	75,653	46,227	9,168	434,797	446,045	468,462	1,411	72,346	560,412	2,286,645
	累計		10,580	55,043	172,124	247,777	294,004	303,172	737,969	1,184,014	1,652,476	1,653,887	1,726,233	2,286,645	
費 用	基準年	千円	58,610	50,762	31,947	131,351	33,781	164,905	225,926	160,678	710,991	43,193	514,264	649,219	2,775,627
	今期		58,610	109,372	141,319	272,670	306,451	471,356	697,282	857,960	1,568,951	1,612,144	2,126,408	2,775,627	

□エネルギー使用量

契約している電力会社:

関西電力・エネアーク関西

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
電力(事業所)	2022年	kWh	4,005	2,943	2,869	3,403	4,070	4,534	3,945	3,403	2,705	2,238	3,371	4,006	41492.00
	(基準年)	円	89,980	66,949	66,996	74,795	87,824	97,948	114,673	102,998	86,994	77,649	103,905	119,902	1,090,613
二酸化炭素排出係数 0.416	今期	kWh	2,624	2,780	2,739	3,689	3,587	4,082	3,725	2,969	2,358	2,315	2,522	3,463	36853.00
		円	69,828	85,818	86,952	104,989	101,228	111,876	104,483	91,301	80,795	83,570	91,315	115,124	1,127,279
電力(工事現場)	2022年	kWh	5,092	3,825	2,420	3,252	5,381	5,115	3,830	2,154	1,541	1,514	1,616	4,396	40136.00
	(基準年)	円	181,920	141,621	85,408	130,688	191,326	148,273	127,530	63,865	48,487	47,859	69,171	121,303	1,357,451
二酸化炭素排出係数 0.420	今期	kWh	4,647	4,591	3,290	3,352	4,138	3,877	1,904	4,531	734	702	530	838	33134.00
		円	116,383	109,659	110,322	104,938	126,394	1,212,094	61,630	169,861	52,237	29,578	20,876	31,929	2,145,901
LPG(1m ³ =2.18kg)	2022年	kg	3.3	3.5	7.0	12.2	29.2	29.2	22.9	8.7	4.4	3.9	2.6	2.0	128.84
	(基準年)	円	4,240	3,621	7,121	6,781	12,511	11,965	10,286	5,267	3,739	5,024	4,330	2,671	77,556
二酸化炭素排出係数 2.698	今期	kg	1.3	2.0	3.1	13.7	20.5	24.0	20.5	18.1	5.0	4.1	4.1	3.1	119.46
		円	2,004	1,944	4,501	7,784	9,509	10,311	9,524	9,260	2,542	5,561	5,549	5,225	73,714
ガソリン	2022年	L	2,817	2,736	3,231	3,358	3,195	3,003	2,663	2,590	2,623	2,800	2,655	1,421	33092
	(基準年)	円	379,287	470,866	313,384	569,739	546,844	512,027	454,652	445,534	463,590	485,320	3,384,019	250,253	8,275,515
二酸化炭素排出係数 2.322	今期	L	2,321	2,760	21,707	2,873	2,515	2,776	2,510	2,487	1,771	2,292	736	2,503	47252.54
		円	649,170	508,119	475,948	501,457	451,469	496,785	451,718	454,373	328,459	417,145	397,468	470,424	5,602,535
軽油	2022年	L	221	79	317	115	141	112	104	255	182	295	140	115	2075
	(基準年)	円	30,859	10,293	44,771	14,196	17,305	13,782	12,957	32,228	33,624	37,301	17,983	18,896	284,195
二酸化炭素排出係数 2.619	今期	L	157.73	63.57	77.40	141.72	159.30	103.52	58.63	68.11	373.30	115.47	102.25	76.00	1497.00
		円	20,629	8,314	9,527	17,444	19,608	12,742	7,313	8,608	71,982	14,594	13,148	12,540	216,449
灯油	2018年	L	35.00	0.00	108.00	47.00	453.00	481.00	392.00	38.00	36.00	12.00	32.00	26.00	1660.00
	(基準年)	円	4,165	0	13,068	5,687	400,908	57,283	47,270	4,598	4,428	1,476	4,032	3,354	546,269
二酸化炭素排出係数 2.489	今期	L	36.00	0.00	117.00	0.00	269.00	285.00	326.00	115.00	0.00	0.00	50.00	0.00	1198.00
		円	5,544	0	16,800	0	39,547	40,942	47,693	16,824	0	0	7,315	0	174,665

□水使用量 ※請求が2か月に1回の場合は1/2づつ各月に入力してください(または、片方の月に0を入れてください)

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
水道水(事業所)	2022年	m ³	12.5	12.5	12.5	11.5	10.0	10.0	11.0	11.0	9.0	9.0	11.5	11.5	132.00
	(基準年)	円	5,553	5,553	5,553	5,553	5,102	5,102	5,282	5,282	5,102	5,102	5,553	5,729	64,461
	今期	m ³	18.0	1.0	14.0	1.0	15.0	1.0	16.0	3.0	16.0	1.0	21.0	2.0	109.00
		円	10,951	2,156	8,396	2,156	10,354	2,156	10,154	2,299	10,695	2,299	11,691	2,299	75,606
水道(工事現場)	2022年	m ³	16.0	0.0	15.0	20.0	23.0	11.0	37.0	23.0	0.0	20.0	26.0	0.0	191.00
	(基準年)	円	3,268	0	3,268	2,065	2,761	2,016	28,433	27,558	0	2,065	7,430	0	78,864
	今期	m ³	7.0	63.0	409.0	16.0	833.0	18.0	375.0	45.0	0.0	10.0	4.0	0.0	1780.00
		円	6,643	27,771	222,096	4,388	491,759	4,436	201,377	25,499	0	5,522	5,765	0	995,256
井戸水	2022年	m ³	2	4	2	2	2	3	3	4	2	3	3	4	34.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	m ³	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
		円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

□廃棄物 単位: kg

□一般廃棄物排出量

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
一般廃棄物 (自治体の焼却場に 持ち込まれる分)	2022年	kg	37	30	22	41	38	22	34	32	23	36	34	37	384.50
	(基準年)	円	656	476	779	1,418	1,175	985	997	891	780	619	790	828	10,392
	今期	kg	40	35	20	46	28	12	30	29	23	45	40	32	377.30
		円	936	1,068	743	1,978	579	493	821	785	745	1,422	1,404	686	11,659

□次世代省エネルギー型住宅設計目標棟数

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
次世代省エネルギー型住宅設計	目標	棟	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	今期	棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

口産業廃棄物排出量

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
リサイクル率 (金額は混合廃棄物 t/単価¥30,434 換算での減額金額)	2022年	%	0.00%	69.27%	79.91%	18.24%	2.28%	0.34%	97.99%	0.00%	0.00%	0.00%	75.44%	48.93%	55.97%
	(基準年)	円	0	-594,886	-497,004	-41,664	-6,260	2,957	-4,444,397	0	0	0	-1,241,423	-154,664	-6,977,343
	今期	%	82.06%	41.27%	0.00%	16.13%	66.77%	79.42%	73.15%	18.75%	40.07%	0.00%	0.00%	40.78%	67.39%
		円	-4,070,273	-252,890	0	-43,101	-510,316	-1,020,652	-692,261	44,349	784	0	0	-207,099	-6,751,458
集計 総量	2022年	t	80.56	29.65	21.35	7.95	26.30	29.21	157.80	8.06	4.16	1.78	60.95	13.49	441.26
	(基準年)	円	349,627	222,180	152,762	200,286	129,931	263,830	351,355	245,298	126,605	173,738	886,925	255,890	3,358,428
	今期	t	169.12	20.84	6.24	9.30	26.60	45.48	32.37	8.00	5.84	4.64	6.37	17.51	352.31
		円	573,531	286,079	189,908	239,935	299,229	363,486	286,063	287,821	178,519	260,780	193,865	325,801	3,485,017
集計 再生利用量	2022年	t	0.00	20.54	17.06	1.45	0.60	0.10	154.63	0.00	0.00	0.00	45.98	6.60	246.96
	(基準年)	円	0	30,228	22,200	2,465	12,000	6,000	261,460	0	0	0	157,932	46,200	538,485
	今期	t	138.78	8.60	0.00	1.50	17.76	36.12	23.68	1.50	2.34	0.00	0.00	7.14	237.42
		円	153,358	8,842	0	2,550	30,192	78,624	28,416	90,000	72,000	0	0	10,200	474,182
混合廃棄物 処分	2022年	t	6.63	6.11	4.29	6.50	2.34	7.02	2.94	8.06	4.16	0.78	8.97	6.89	64.69
	(基準年)	円	201,777	185,952	130,562	197,821	71,215	213,646	89,415	245,298	126,605	23,738	272,993	209,690	1,968,713
	今期	t	12.61	8.84	6.24	7.80	8.84	9.36	8.45	6.50	3.50	3.64	6.37	10.37	92.52
		円	383,773	269,037	189,908	237,385	269,037	284,862	257,167	197,821	106,519	110,780	193,865	315,601	2,815,755
木 再生利用	2022年	t	0.00	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.75
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	t	37.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	37.00
		円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート 再生利用	2022年	t	0.00	17.76	8.88	1.45	0.00	0.00	153.80	0.00	0.00	0.00	39.96	6.00	227.85
	(基準年)	円	0	30,192	15,096	2,465	0	0	261,460	0	0	0	67,932	10,200	387,345
	今期	t	63.74	5.18	0.00	1.50	17.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00	94.18
		円	108,358	8,806	0	2,550	30,192	0	0	0	0	0	0	10,200	160,106
金属 再生利用	2022年	t	0.00	0.00	2.26	0.00	0.40	0.00	0.83	0.00	0.00	0.00	4.52	0.00	8.01
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	t	37.29	3.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.14	0.00	0.00	1.14	42.96
		円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラ 処分	2022年	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	t	0.70	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.10
		円	2,100	4,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,300
石綿 処分	2022年	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	3.00	0.00	4.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000	450,000	0	600,000
	今期	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00
		円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000	0	0	150,000
ガラス・陶磁器 処分	2022年	t	73.93	3.00	0.00	0.00	23.36	22.09	0.24	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	125.62
	(基準年)	円	147,850	6,000	0	0	46,716	44,184	480	0	0	0	6,000	0	251,230
	今期	t	17.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	19.24
		円	34,000	4,000	0	0	0	0	480	0	0	0	0	0	38,480
石膏ボード 再生利用	2022年	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.60	2.40
	(基準年)	円	0	0	0	0	12,000	6,000	0	0	0	0	90,000	36,000	144,000
	今期	t	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0.00	1.50	1.20	0.00	0.00	0.00	4.05
		円	45,000	0	0	0	0	36,000	0	90,000	72,000	0	0	0	243,000
アスファルト 再生利用	2022年	t	0.00	0.03	5.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.95
	(基準年)	円	0	36	7,104	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,140
	今期	t	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	35.52	23.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	59.23
		円	0	36	0	0	0	42,624	28,416	0	0	0	0	0	71,076
繊維 処分	2022年	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	t	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
		円	300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300

様式:4-01 環境への負荷の自己チェック表(補助資料)

環境負荷調査表(本社)

様式更新日: 2024年10月1日

売上高・生産高・総費用

事業年度を自社の期初～期末月に変更する

基準年度と今期のデータを入力

指 標		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
売上高	2022年	千円	13,331	70,188	7,780	83,616	16,671	153,726	271,215	177,655	778,914	26,864	217,189	1,016,876	2,834,025
	累計		13,331	83,519	91,299	174,915	191,586	345,312	616,527	794,182	1,573,096	1,599,960	1,817,149	2,834,025	
	今期		10,580	44,463	117,081	75,653	46,227	9,168	434,797	446,045	468,462	1,411	72,346	560,412	2,286,645
	累計		10,580	55,043	172,124	247,777	294,004	303,172	737,969	1,184,014	1,652,476	1,653,887	1,726,233	2,286,645	
費 用	基準年	千円	58,610	50,762	31,947	131,351	33,781	164,905	225,926	160,678	710,991	43,193	514,264	649,219	2,775,627
	今期		58,610	109,372	141,319	272,670	306,451	471,356	697,282	857,960	1,568,951	1,612,144	2,126,408	2,775,627	

エネルギー使用量

契約している電力会社:

関西電力

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
電力(事業所)	2022年	kWh	1,808	1,297	1,382	1,967	2,581	2,802	2,174	1,693	1,226	1,039	1,730	1,981	21680.00
	(基準年)	円	32,972	25,344	26,462	36,415	47,847	50,718	65,338	55,072	45,692	42,284	54,060	54,648	536,852
二酸化炭素排出係数 0.420	今期	kWh	1,032	1,193	1,418	2,523	2,344	2,712	2,281	1,592	1,131	1,133	1,362	2,271	20992.00
		円	27,307	44,657	49,905	72,697	66,885	73,767	64,235	52,710	46,531	48,798	56,112	77,047	680,651
電力(工事現場)	2022年	kWh	5,092	3,825	2,420	3,252	5,381	5,115	3,830	2,154	1,541	1,514	1,616	4,396	40136.00
	(基準年)	円	181,920	141,621	85,408	130,688	191,326	148,273	127,530	63,865	48,487	47,859	69,171	121,303	1,357,451
二酸化炭素排出係数 0.420	今期	kWh	4,647	4,591	3,290	3,352	4,138	3,877	1,904	4,531	734	702	530	838	33134.00
		円	116,383	109,659	110,322	104,938	126,394	1,212,094	61,630	169,861	52,237	29,578	20,876	31,929	2,145,901
LPG(1m ³ =2.18kg)	2022年	kg	1.7	2.2	3.9	4.4	5.9	6.3	4.4	3.9	2.6	1.7	0.7	0.2	37.93
	(基準年)	円	2,671	2,802	3,293	3,421	3,897	4,027	3,443	3,313	2,906	2,653	2,323	884	35,633
二酸化炭素排出係数 2.698	今期	kg	0.2	0.0	1.5	1.7	2.8	3.1	2.6	3.5	2.6	1.5	1.3	0.2	21.15
		円	883	715	2,587	2,650	2,988	3,053	2,923	3,309	1,396	2,716	2,650	2,321	28,191
ガソリン	2022年	L	1,484.3	1,524.7	1,719.1	1,542.8	1,459.2	1,339.8	1,219.1	1,254.7	1,203.1	1,230.0	841.4	1,224.7	16042.77
	(基準年)	円	138,374	255,107	288,019	258,091	245,080	223,702	203,525	209,687	203,143	209,492	155,448	214,406	2,604,074
二酸化炭素排出係数 2.322	今期	L	386.7	582.1	617.0	557.0	511.1	571.1	586.0	644.1	373.3	564.6	577.3	814.9	6785.31
		円	299,394	120,052	122,173	103,893	102,990	114,483	116,987	128,940	71,982	113,563	115,203	162,835	1,572,495
軽油	2022年	L	89.00	0.00	193.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	36.80	0.00	0.00	0.00	318.80
	(基準年)	円	13,542	0	29,527	0	0	0	0	0	5,703	0	0	0	48,772
二酸化炭素排出係数 2.619	今期	L	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	38.00	38.00
		円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,270	6,270
灯油	2022年	L	35.00	0.00	108.00	47.00	319.00	379.00	374.00	38.00	36.00	12.00	32.00	26.00	1406.00
	(基準年)	円	4,165	0	13,068	5,687	385,900	45,859	45,254	4,598	4,428	1,476	4,032	3,354	517,821
二酸化炭素排出係数 2.489	今期	L	36.00	0.00	117.00	0.00	269.00	249.00	326.00	115.00	0.00	0.00	50.00	0.00	1162.00
		円	5,544	0	16,800	0	39,547	36,428	47,693	16,824	0	0	7,315	0	170,151

□水使用量 ※請求が2か月に1回の場合は1/2づつ各月に入力してください(または、片方の月に0を入れてください)

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
水道水(事業所)	2022年	m ³	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	31.00
	(基準年)	円	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	2,156	23,936
	今期	m ³	2.0	1.0	0.0	1.0	2.0	1.0	4.0	3.0	2.0	1.0	2.0	2.0	21.00
		円	2,156	2,156	0	2,156	2,156	2,156	2,156	2,299	2,299	2,299	2,299	2,299	24,431
水道(工事現場)	2022年	m ³	16.0	0.0	15.0	20.0	23.0	11.0	37.0	23.0	0.0	20.0	26.0	0.0	1749.00
	(基準年)	円	3,268	0	3,268	2,065	2,761	2,016	28,433	27,558	0	2,065	7,430	0	558,680
	今期	m ³	7.0	63.0	409.0	16.0	833.0	18.0	375.0	45.0	0.0	10.0	4.0	0.0	1780.00
		円	6,643	27,771	222,096	4,388	491,759	4,436	201,377	25,499	0	5,522	5,765	0	995,256
井戸水	2022年	m ³	2.0	4.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	4.0	2.0	3.0	3.0	4.0	34.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	m ³													0.00
		円													0

□廃棄物 単位: kg

□一般廃棄物排出量

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
一般廃棄物 (自治体の焼却場に 持ち込まれる分)	2022年	kg	9.0	6.5	11.0	20.0	16.5	14.0	14.0	12.5	11.0	8.5	11.0	11.5	145.50
	(基準年)	円	630	455	770	1,400	1,155	980	980	875	770	595	770	805	10,185
	今期	kg	13.0	15.0	10.5	28.0	8.0	7.0	11.5	11.0	10.5	20.0	19.8	9.5	163.80
		円	910	1,050	735	1,960	560	490	805	770	735	1,400	1,386	665	11,466

□次世代省エネルギー型住宅設計目標棟数

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
次世代省エネルギー型住宅設計	目標	棟	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	今期	棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

□産業廃棄物排出量

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
リサイクル率 (金額は混合廃棄物 t/単価¥30,434 換算での減額金額)	2022年	%	0.00%	69.27%	79.91%	18.24%	2.28%	0.34%	97.99%	0.00%	0.00%	0.00%	75.44%	48.93%	55.97%
	(基準年)	円	0	-594,886	-497,004	-41,664	-6,260	2,957	-4,444,397	0	0	0	-1,241,423	-154,664	-6,977,343
	今期	%	82.06%	41.27%	0.00%	16.13%	66.77%	79.42%	73.15%	18.75%	40.07%	0.00%	0.00%	40.78%	67.39%
		円	-4,070,273	-252,890	0	-43,101	-510,316	-1,020,652	-692,261	44,349	784	0	0	-207,099	-6,751,458
集計 総量	2022年	t	80.56	29.65	21.35	7.95	26.30	29.21	157.80	8.06	4.16	1.78	60.95	13.49	441.26
	(基準年)	円	349,627	222,180	152,762	200,286	129,931	263,830	351,355	245,298	126,605	173,738	886,925	255,890	3,358,428
	今期	t	169.12	20.84	6.24	9.30	26.60	45.48	32.37	8.00	5.84	4.64	6.37	17.51	352.31
		円	573,531	286,079	189,908	239,935	299,229	363,486	286,063	287,821	178,519	260,780	193,865	325,801	3,485,017
集計 再生利用量	2022年	t	0.00	20.54	17.06	1.45	0.60	0.10	154.63	0.00	0.00	0.00	45.98	6.60	246.96
	(基準年)	円	0	30,228	22,200	2,465	12,000	6,000	261,460	0	0	0	157,932	46,200	538,485
	今期	t	138.78	8.60	0.00	1.50	17.76	36.12	23.68	1.50	2.34	0.00	0.00	7.14	237.42
		円	153,358	8,842	0	2,550	30,192	78,624	28,416	90,000	72,000	0	0	10,200	474,182
混合廃棄物 処分	2022年	t	6.63	6.11	4.29	6.50	2.34	7.02	2.94	8.06	4.16	0.78	8.97	6.89	64.69
	(基準年)	円	201,777	185,952	130,562	197,821	71,215	213,646	89,415	245,298	126,605	23,738	272,993	209,690	1,968,713
	今期	t	12.61	8.84	6.24	7.80	8.84	9.36	8.45	6.50	3.50	3.64	6.37	10.37	92.52
		円	383,773	269,037	189,908	237,385	269,037	284,862	257,167	197,821	106,519	110,780	193,865	315,601	2,815,755
木 再生利用	2022年	t	0.00	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.75
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	t	37.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	37.00
		円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コンクリート 再生利用	2022年	t	0.00	17.76	8.88	1.45	0.00	0.00	153.80	0.00	0.00	0.00	39.96	6.00	227.85
	(基準年)	円	0	30,192	15,096	2,465	0	0	261,460	0	0	0	67,932	10,200	387,345
	今期	t	63.74	5.18	0.00	1.50	17.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	6.00	94.18
		円	108,358	8,806	0	2,550	30,192	0	0	0	0	0	0	10,200	160,106
金属 再生利用	2022年	t	0.00	0.00	2.26	0.00	0.40	0.00	0.83	0.00	0.00	0.00	4.52	0.00	8.01
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	t	37.29	3.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.14	0.00	0.00	1.14	42.96
		円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラ 処分	2022年	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	t	0.70	1.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.10
		円	2,100	4,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,300
石綿 処分	2022年	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	3.00	0.00	4.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000	450,000	0	600,000
	今期	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00
		円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000	0	0	150,000
ガラス・陶磁器 処分	2022年	t	73.93	3.00	0.00	0.00	23.36	22.09	0.24	0.00	0.00	0.00	3.00	0.00	125.62
	(基準年)	円	147,850	6,000	0	0	46,716	44,184	480	0	0	0	6,000	0	251,230
	今期	t	17.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	19.24
		円	34,000	4,000	0	0	0	0	480	0	0	0	0	0	38,480
石膏ボード 再生利用	2022年	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.60	2.40
	(基準年)	円	0	0	0	0	12,000	6,000	0	0	0	0	90,000	36,000	144,000
	今期	t	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.60	0.00	1.50	1.20	0.00	0.00	0.00	4.05
		円	45,000	0	0	0	0	36,000	0	90,000	72,000	0	0	0	243,000
アスファルト 再生利用	2022年	t	0.00	0.03	5.92	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.95
	(基準年)	円	0	36	7,104	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,140
	今期	t	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	35.52	23.68	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	59.23
		円	0	36	0	0	0	42,624	28,416	0	0	0	0	0	71,076
繊維 処分	2022年	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	t	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
		円	300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300

様式:4-01 環境への負荷の自己チェック表(補助資料)

環境負荷調査表(姫路)

様式更新日: 2024年10月1日

□売上高・生産高・総費用

事業年度を自社の期初～期末月に変更する

基準年度と今期のデータを入力

指 標		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
売上高	2022年	千円	13,331	70,188	7,780	83,616	16,671	153,726	271,215	177,655	778,914	26,864	217,189	1,016,876	2,834,025
	累計		13,331	83,519	91,299	174,915	191,586	345,312	616,527	794,182	1,573,096	1,599,960	1,817,149	2,834,025	
	今期		10,580	44,463	117,081	75,653	46,227	9,168	434,797	446,045	468,462	1,411	72,346	560,412	2,286,645
	累計		10,580	55,043	172,124	247,777	294,004	303,172	737,969	1,184,014	1,652,476	1,653,887	1,726,233	2,286,645	
費 用	基準年	千円	58,610	50,762	31,947	131,351	33,781	164,905	225,926	160,678	710,991	43,193	514,264	649,219	2,775,627
	今期		58,610	109,372	141,319	272,670	306,451	471,356	697,282	857,960	1,568,951	1,612,144	2,126,408	2,775,627	

□エネルギー使用量

契約している電力会社:

エネアーク関西

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
電力(事業所)	2022年	kWh	1,663	1,142	1,096	982	1,138	1,429	1,364	1,294	1,044	904	1,132	1,623	14,811.00
	(基準年)	円	43,658	29,005	30,759	27,030	31,202	39,655	37,939	36,278	29,122	27,105	35,593	53,998	421,344
二酸化炭素排出係数 0.409	今期	kWh	1,176	1,259	917	751	792	1,006	993	994	870	845	791	892	11,286.00
		円	30,873	31,977	25,735	20,672	21,715	27,917	27,620	27,867	24,268	25,336	24,871	29,677	318,528
LPG(1m ³ =2.18kg)	2022年	kg	1.5	1.3	3.1	7.8	23.3	22.9	18.5	4.8	1.7	2.2	2.0	1.7	90.91
	(基準年)	円	1,569	819	3,828	3,360	8,614	7,938	6,843	1,954	833	2,371	2,007	1,787	41,923
二酸化炭素排出係数 2.698	今期	kg	1.1	2.0	1.5	12.0	17.7	20.9	17.9	14.6	2.4	2.6	2.8	2.8	98.32
		円	1,121	1,229	1,914	5,134	6,521	7,258	6,601	5,951	1,146	2,845	2,899	2,904	45,523
ガソリン	2022年	L	1,332.49	1,210.85	1,512.12	1,815.36	1,735.59	1,662.97	1,443.67	1,335.45	1,419.67	1,569.86	1,814.08	196.76	17,048.87
	(基準年)	円	240,913	215,759	25,365	311,648	301,764	288,325	251,127	235,847	260,447	275,828	3,228,571	35,847	5,671,441
二酸化炭素排出係数 2.322	今期	L	1,934.61	2,177.85	21,089.92	2,315.82	2,004.27	2,205.00	1,924.29	1,842.72	1,398.03	1,727.82	158.60	1,688.30	40,467.23
		円	349,776	388,067	353,775	397,564	348,479	382,302	334,731	325,433	256,477	303,582	282,265	307,589	4,030,040
軽油	2022年	L	132.41	78.70	123.85	115.33	140.59	111.97	103.88	255.00	144.80	295.13	139.85	114.52	1,756.03
	(基準年)	円	17,317	10,293	15,244	14,196	17,305	13,782	12,957	32,228	27,921	37,301	17,983	18,896	235,423
二酸化炭素排出係数 2.619	今期	L	157.73	63.57	77.40	141.72	159.30	103.52	58.63	68.11	373.30	115.47	102.25	38.00	1,459.00
		円	20,629	8,314	9,527	17,444	19,608	12,742	7,313	8,608	71,982	14,594	13,148	6,270	210,179
灯油	2022年	L	0	0	0	0	134	102	18	0	0	0	0	0	254.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	15,008	11,424	2,016	0	0	0	0	0	28,448
二酸化炭素排出係数 2.489	今期	L	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	36.00
		円	0	0	0	0	0	4,514	0	0	0	0	0	0	4,514

□水使用量 ※請求が2か月に1回の場合は1/2づつ各月に入力してください(または、片方の月に0を入れてください)

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
水道水(事業所)	2022年	m	9.5	9.5	9.5	9.5	7.0	7.0	8.0	8.0	7.0	7.0	9.5	9.5	101.00
	(基準年)	円	3,573	3,573	3,573	3,573	3,122	3,122	3,302	3,302	3,122	3,122	3,573	3,573	40,525
	今期	m	16.0	0.0	14.0	0.0	13.0	0.0	12.0	0.0	14.0	0.0	19.0	0.0	88.00
		円	8,795	0	8,396	0	8,198	0	7,998	0	8,396	0	9,392	0	51,175

□廃棄物 単位: kg

□一般廃棄物排出量

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
一般廃棄物 (自治体の焼却場に 持ち込まれる分)	2022年	kg	26.0	20.5	9.0	18.0	19.5	4.5	17.0	16.0	10.0	24.0	20.0	22.5	207.00
	(基準年)	円	26.0	20.5	9.0	18.0	19.5	4.5	17.0	16.0	10.0	24.0	20.0	22.5	207
	今期	kg	25.5	18.0	8.0	17.5	19.0	3.0	16.0	15.0	10.0	22.0	18.0	20.5	192.50
		円	25.5	18.0	8.0	17.5	19.0	3.0	16.0	15.0	10.0	22.0	18.0	20.5	193

様式:4-01 環境への負荷の自己チェック表(補助資料)

環境負荷調査表(大阪)

様式更新日: 2024年10月1日

□売上高・生産高・総費用

事業年度を自社の期初～期末月に変更する

基準年度と今期のデータを入力

指 標		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
売上高	2022年	千円	13,331	70,188	7,780	83,616	16,671	153,726	271,215	177,655	778,914	26,864	217,189	1,016,876	2,834,025
	累計		13,331	83,519	91,299	174,915	191,586	345,312	616,527	794,182	1,573,096	1,599,960	1,817,149	2,834,025	
	今期		10,580	44,463	117,081	75,653	46,227	9,168	434,797	446,045	468,462	1,411	72,346	560,412	2,286,645
	累計		10,580	55,043	172,124	247,777	294,004	303,172	737,969	1,184,014	1,652,476	1,653,887	1,726,233	2,286,645	
費 用	基準年	千円	58,610	50,762	31,947	131,351	33,781	164,905	225,926	160,678	710,991	43,193	514,264	649,219	2,775,627
	今期		58,610	109,372	141,319	272,670	306,451	471,356	697,282	857,960	1,568,951	1,612,144	2,126,408	2,775,627	

□エネルギー使用量

契約している電力会社:

関西電力

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
電力(事業所)	2022年	kWh	534	504	391	454	351	303	407	416	435	295	509	402	5,001.00
	(基準年)	円	13,350	12,600	9,775	11,350	8,775	7,575	11,396	11,648	12,180	8,260	14,252	11,256	132,417
二酸化炭素排出係数 0.420	今期	kWh	416	328	404	415	451	364	451	383	357	337	369	300	4,575.00
		円	11,648	9,184	11,312	11,620	12,628	10,192	12,628	10,724	9,996	9,436	10,332	8,400	128,100

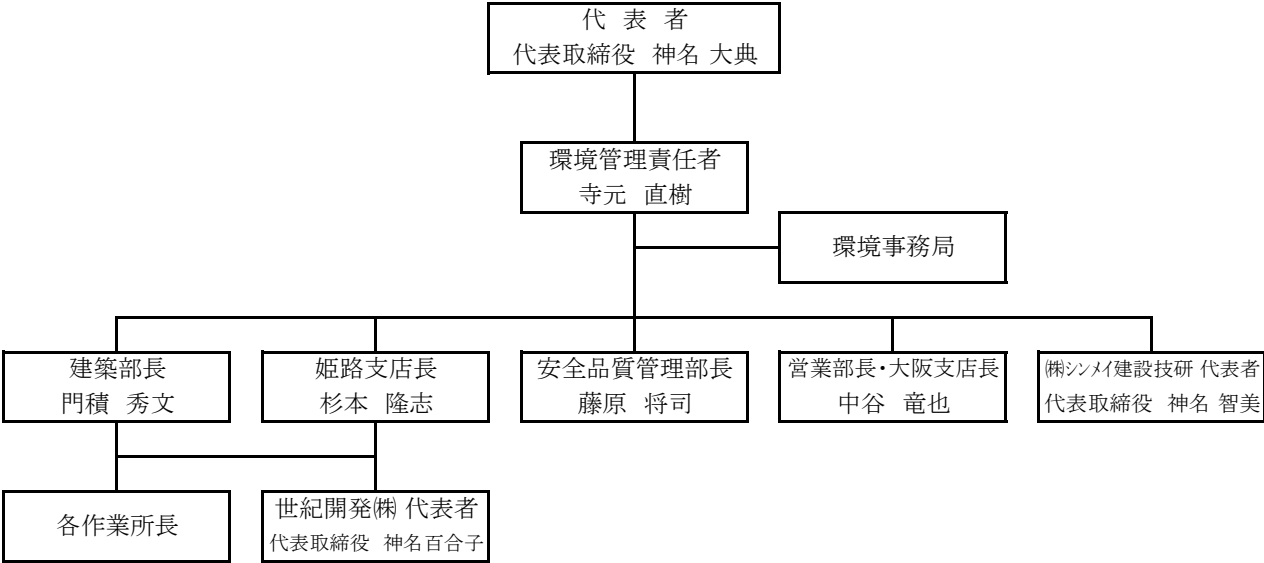
□廃棄物

単位: kg

□一般廃棄物排出量

		単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
一般廃棄物 (自治体の焼却場に 持ち込まれる分)	2022年	kg	2.0	3.0	2.0	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	32.00
	(基準年)	円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	今期	kg	1.0	2.0	1.0	0.0	1.0	2.0	2.0	3.0	2.0	2.5	2.5	2.0	21.00
		円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【株式会社神名工務店 環境経営組織図及び役割・責任・権限表】



【適用範囲】

株式会社神名工務店本社、姫路支店及び建設現場
及び関連会社、株式会社シンメイ建設技研、世紀開発株式会社
注：) 株式会社シンメイ建設技研：本社内に設置されており環境活動は本社に含める。
世紀開発株式会社：姫路支店内に設置されており環境活動は姫路支店に含める。

【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境方針を策定し、従業員に周知させる ③資源(人・もの・金)の用意をする ④エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する
環境管理責任者	①エコアクション21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境事務局	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う。 ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる。 ②作業所の環境目標、活動計画の達成と実績の把握を行う。ほか

様式：7.1

2023 年度 環境教育・訓練計画書 兼 記録簿

承認	作成
寺元	岡本

:
最終記録日：2023/10/29
計画作成日：2024/08/20

年間計画			全員教育(年1回以上)	
			①EA取組の理解(環境管理責任者) ②環境方針の周知(社長) ③環境目標・行動計画の内容と各人の役割(社長)	
項目	No.	日時・場所	教育・訓練テーマ	講師
環境教育訓練実施記録	1	2023/9/3 本社会議室	全社員教育	社長、寺元
	2	2023/9/3 本社会議室		
	3	2024/4/8 本社会議室		

専門教育(部門で年1回以上)				
①目標達成のための専門知識 ②法規制対応能力向上 ③資格取得教育(石綿処理等)				
教育訓練テーマ	講師(外部機関を含む)	受講者氏名 人数	欠席者氏名 伝達	教材、 テキスト
		全社員及び シンメイ建設 技研社員教育	なし	環境方針・環境活動計画書 などの資料
環境法規制の周知	社長、寺元	工務部・ シンメイ建設 技研社員	なし	当社法律関係 登録簿
EA21の取り組みと社員心得について	寺元	新入社員4名	なし	EA21環境活動 レポート

備考：緊急事態訓練は様式9-1による。

様式：9

環境コミュニケーション記録簿（社内）

承認	作成
寺元	岡本

作成日：	2023/9/1
最終記録日：	2024/10/1

No.	いつ	誰から	どのように	何を		誰に	いつまでに	どうしたか	完了の確認	備考
	受信 年月日	発信者 住所、所属 氏名、電話	連絡方法 来社、電話 メール、書類	件名 苦情、要請、提案 賞賛、その他	内容 別紙、添付書類の有無	受信者 →社内 報告先	事後処置 回答の可否 回答の期限	処置の内容、結果 回答者、回答先	最終確認者 確認日、 確認先	
1	2023/8/24	総務、寺元	メール	エアコンフロン点検について	3ヶ月枚のエアコン点検の報告をするように依頼	姫路支店 戸倉	2024/8/31までに回答	3ヶ月枚のエアコン点検の報告を提出 特に問題なし	寺元 2024/8/31	

様式：9

承 認	作 成
藤原	寺元

環境コミュニケーション記録簿 (社外)

最終記録日：2024/10/30

No.	いつ	誰から	どのように	何を		誰に	いつまでに	どうしたか	完了の確認	備考
	受信 年月日	発信者 住所、所属 氏名、電話	連絡方法 来社、電話 メール、書類	件名 苦情、要請、提案 賞賛、その他	内容 別紙、添付書類の有無	受信者 →社内 報告先	事後処置 回答の可否 回答の期限	処置の内容、結果 回答者、回答先	最終確認者 確認日、 確認先	
1	2023/7/22	旧東条西小 学校 近隣住民	旧東条西小 学校住民説 明会にて	要望	解体時の作業について 騒音により夜勤後の睡 眠が妨げられるのをな んとかしてほしい	藤岡	1週間以内に回答	夜勤のスケジュール を聞き翌日の騒音作 業を停止する	門積、藤原	
2										

承認	作成
寺元	岡本

事務所電力削減手順書

	内 容	ポイント
1. 目的	本社内の事務所電力を削減し、二酸化炭素排出量を減少させる	
2. 業務手順	1. 空調機器 ① 冷暖房温度を適正にする ② 設備点検フィルターの清掃を行う（毎月1回） 2. 照明 ① 不要照明の消灯を行う ② 窓際、不要箇所の蛍光灯の間引きを行う ③ 省エネ型蛍光灯へ順次交換を行う 3. OA機器① パソコンの省電力モードの活用 ② 消費電力の少ないものを優先的に導入する	夏季：28℃以上 冬季：20℃以下
3. 測定と記録	省エネルギー及び温室効果ガスの排出抑制チェックリストにより、毎日1回測定を行い、空調機・照明・OA機器の適正状況を記録する。 毎月1回、請求書により電力使用量（kwh）を把握する	
4. アクション	上記の実績を踏まえて全員の協力を朝礼を通じ求める	
5. 手順を守らなかったときのリスク	無駄な電力を消費することにより二酸化炭素の発生量が増加し、地球の温暖化に繋がる	

承認	作成
寺元	岡本

整理番号： 1/1
制改訂版数： 1
改訂日： 年 月 日
作成日：2023年 9月 1日

ガソリンの使用量の削減手順書

	内 容	ポイント
1. 目的	ガソリンの使用量を削減し、二酸化炭素排出量を減少させる	
2. 業務手順	1、エコドライブの励行 2、公共交通機関の利用を推進する 3、相乗りの励行 4、アイドリングストップの励行	
3. 測定と記録	省エネルギー及び温室効果ガスの排出抑制チェックリストにより、毎日1回測定を行い、建設機械、建設車両等の適正状況を記録する	
4. アクション	上記の実績を踏まえて全員の協力を朝礼を通じ求める	
5. 手順を守らなかったときのリスク	無駄なガソリンを消費することにより二酸化炭素の発生量が増加し、地球の温暖化に繋がる	

承認	作成
寺元	岡本

整理番号： 1/1
 制改訂版数： 1
 改訂日： 年 月 日
 作成日：2023年 9月 1日

軽油の使用量の削減手順書

	内 容	ポイント
1. 目的	軽油の使用量を削減し、二酸化炭素排出量を減少させる	
2. 業務手順	1、不要な重機、トラックのアイドリングストップする 2、省エネ型の発電機を試用する	
3. 測定と記録	省エネルギー及び温室効果ガスの排出抑制チェックリストにより、毎日1回測定を行い、建設機械、建設車両等の適正状況を記録する	
4. アクション	上記の実績を踏まえて全員の協力を朝礼を通じ求める	
5. 手順を守らなかったときのリスク	無駄な軽油を消費することにより二酸化炭素の発生量が増加し、地球の温暖化に繋がる	

承認	作成
寺元	岡本

整理番号：1/1
制改訂版数：1
改訂日： 年 月 日
作成日：2023年 9月 1日

節水手順書

	内 容	ポイント
1. 目的	事務所及び現場での節水を促し総排水量を減少させる	
2. 業務手順	1、トイレの洗浄水の節水用具の活用 2、洗車時の節水の徹底 3、節水を呼びかける張り紙の添付	
3. 測定と記録	水道料金表から水道使用料を逐次記録し排水量がいくらかを把握する	
4. アクション	上記の実績を踏まえて全員の協力を朝礼を通じ求める	
5. 手順を守らなかったときのリスク	無駄な水の使用により、排水が増え地球環境の汚染につながる。	

承認	作成
寺元	岡本

整理番号： 1/1
 制改訂版数： 1
 改訂日： 年 月 日
 作成日：2023年 9月 1日

事務所用紙リサイクル化手順書

	内 容	ポイント
1. 目的	廃棄処分を行っていた事務所内の用紙を回収しリサイクルする	
2. 業務手順	1、本社及び姫路事務所において、廃棄用紙専用のゴミ箱を数カ所設置する 2、専用ゴミ箱を逐次回収し保管場所に置く 3、適時古紙リサイクル業者に回収を依頼する	
3. 測定と記録	用紙購入量とリサイクル量を逐次記録し再生率が、何%かを把握する	
4. アクション	上記の実績を踏まえて全員の協力を朝礼を通じ求める	
5. 手順を守らなかったときのリスク	無駄な用紙廃棄を行うことにより二酸化炭素の発生量が増加し、地球の温暖化に繋がる	

承認	作成
寺元	岡本

建設現場最終処分再資源化手順書

	内 容	ポイント
1. 目的	混合廃棄物として処分されていた建設産業廃棄物を分別しリサイクル化を推進する	
2. 業務手順	1、建設現場において分別するように努める 場所の余裕のある場合は分別できるようにバツカンを数種類置く 2、産業廃棄物処理業者にリサイクルの徹底を促す	
3. 測定と記録	マニフェストにより再生し減価されているか逐次チェックを行い現場ごとに再資源化が出来ているかどうかチェックする	
4. アクション	上記の実績を踏まえて全員の協力を朝礼を通じ求める	
5. 手順を守らなかったときのリスク	混合廃棄物を増やすことにより現場の産業廃棄物処分量が増えコストが増える 無駄な廃棄を行うことにより二酸化炭素の発生量が増加し、地球の温暖化に繋がる	

承認	作成
寺元	岡本

整理番号：1/1
制改訂版数：1
改訂日： 年 月 日
作成日：2023年 9月 1日

省エネ住宅設計増加手順書

	内 容	ポイント
1. 目的	次世代型省エネ住宅の普及を促進する	
2. 業務手順	1、ホームページにて弊社次世代型省エネ住宅の利便性、優位性を知ってもらう 2、一般住宅建築目的の顧客に対しても、省エネ住宅を出来るだけお勧めする 3、省エネ住宅リフォームも推進する	
3. 測定と記録	一般住宅と省エネ住宅の着工棟数を記録し把握する	
4. アクション	上記の実績を踏まえて全員の協力を朝礼を通じ求める	
5. 手順を守らなかったときのリスク	住宅におけるエネルギー消費を減らせないために二酸化炭素の発生量が増加し、地球の温暖化に繋がる	

承認	作成
寺元	岡本

整理番号：1/1
制改訂版数：1
改訂日： 年 月 日
作成日：2023年 9月 1日

グリーン購入の推進手順書

	内 容	ポイント
1. 目的	環境基本法の精神に基づき、持続可能な経済社会の構築のため、物を購入・調達する際に省資源、省エネ、安全性等環境への配慮を行う。	
2. 業務手順	1、グリーン対象商品の調査を行う 2、関係部門と整合し購入を推進する 3、仕入先への環境配慮の協力要請	
3. 測定と記録	グリーン対象商品の購入を記録し把握する	
4. アクション	上記の実績を踏まえて全員の協力を朝礼を通じ求める	
5. 手順を守らなかったときのリスク	通常商品の購入が増えることでエネルギー消費を減らせないために二酸化炭素の発生量が増加し、地球の温暖化に繋がる	

承認	作成
寺元	岡本

火災対応手順書

	内 容	ポイント
0. 予防	①. たばこは所定の場所で喫煙する。 ②. 危険物保管場所は火気厳禁とする。 ③. 消火器の点検は毎月初めに実施する。	喫煙スペースで吸殻入れには水を入れておく。消火器の点検では、置き場所の確認、有効期限も確認する。消火器は離れたところからもすぐに分かるように表示を行う
1. 社内連絡	①. 発見者は大声で火災発生の連絡をする。 ②. 電話で内線14番（総務課）へ掛け火災発生を告げる。 ③. 火災発生の連絡を受けた人は (1) 周囲の者に出火場所と非難要請を伝達する。 (2) 消防署に社名、住所、火災の状況を連絡する。	総務課 内線14番 消防署 119番
2. 消火活動	①. 近くにガス器具がある場合は元栓を止める。 ②. 消火隊は近くの消火器を持って現場に駆けつけ消火作業を行う。	
3. 避難・誘導	①. 部門長は各部署の出入り口又は非常口に誘導する。	避難用の出入り口を妨害するものが置いていないかも確認する
4. 警備	①. 総務課員は消防署の到着時現場に案内する。	総務課員は不審者が社内に侵入しないか確認する
5. 訓練・テスト及び評価・見直し	①. 毎年1回訓練を兼ねた消火テストを実施し、手順の有効性や訓練の妥当性を確認する。 ②. 火災発生時は原因を突き止め、再発防止のための手順を見直し、改定する。 ③. 手順書を改訂した場合は必要に応じて試行・訓練を行う。	消火訓練 毎年9月 訓練の記録を残す 訓練時に消火器の有効期限が切れていないかを確認する 訓練：決められた手順通りにできるようにすること 試行：手順が適切であるか機能が正常であるか決められた手順通りに行動できるか

承認	作成
寺元	岡本

油類流出事故対応手順書

	内 容	ポイント
1. 目的	建設現場における油類流出事故は放流先の下水道排出基準を超過して水質悪化を引き起こすのみならず、地域社会から会社のイメージを低下を受けるので、油類流失事故は防止する必要がある。	
2. 作業手順	①. 取り組み者（だれが） 自動車整備作業に従事する、担当者全員。 ②. （なにを）（いつ）（どこで） 新油をエンジンに給油する際に、外にこぼさないようにして注意作業する。 ③. （どのように） 油をエンジンから抜き取る際や給油する際には手元をよく見ながら作業する。作業に不慣れな作業員は、ベテランの作業員の監視下で行うようにする。油の抜き取りや給油操作に自信のない場合は床に油受け容器を用意するとよい。また、吸油マットや砂袋を用意して油の流失被害を小さくする。	
3. 測定と記録	記録と達成状況の確認（実施責任者）グループのリーダーが緊急訓練の実施記録を行い、実施目的の達成確認を行う。	確認時期： 緊急訓練の実施後に確認をする。
4. 確認と評価	部門長に緊急訓練の実施記録を提出すると共に、報告確認を行う。	
5. 是正が必要な場合	緊急訓練の実施目的が未達成（例；時間が大幅に延びた）の場合は、手順等の是正を行う。	

承認	作成	整理番号：	1/1
寺元	岡本	制改訂版数：	1
		改訂日：	2024年10月1日
		作成日：	2023年9月5日

緊急事態の想定・対応手順書 兼 訓練記録簿

No.	緊急事態の想定結果	緊急事態対応策	訓練（テスト）方法	訓練・テスト・（現実に発生）記録				
				日時	場所	責任者 参加人員	訓練等の結果 効果の検証 課題と反省点	対応策の 変更・改善 の必要性
1	建設現場において保管油類が流出した	給油マット敷きや土嚢などで流出を防ぐ	給油マット敷き、土嚢積訓練	R5年 9月 5日	工事現場	監督：藤原 参加人数 現場職員： 2名 協力業者： 3名	滞りなく終了した。	特になし
2	昼間、事務所において火災が発生した。	昼間における男性社員不在時に対応できるよう事務所職員による初期消火を行う。	女性職員の訓練用消火器による消火訓練。 および消火器の場所のチェックを行う。	R5年 9月 5日	本社	寺元 女性職員3名	滞りなく終了した。	特になし
3	昼間、事務所において火災が発生した。	昼間における男性社員不在時に対応できるよう事務所職員による初期消火を行う。	女性職員の訓練用消火器による消火訓練。 および消火器の場所のチェックを行う。	R5年 9月 5日	姫路支店	寺元 女性職員1名	滞りなく終了した。	特になし
4	南海トラフ地震が発生した	合同訓練にて非常階段にて避難場所まで避難行動をとる	避難行動後、消防職員による講習	R5年 9月 5日	大阪支店	寺元 女性職員1名	滞りなく終了した	特になし

① 訓練の実施は毎年1回（原則として 9月）に行う。② 詳細は写真等を添付してもよい。

環境関連文書一覧表

作成者:

更新日: 2024年10月1日

項番	ガイドライン (コメントで要求事項を表示)	様式 番号	文書類	備 考
1	取組の対象組織・活動の明確化	—	環境経営レポートに記載	
2	代表者による経営における課題とチャンス の明確化	—		文書化は要求されていない
3	環境経営方針の策定	—	環境経営レポートに記載	
4	環境への負荷と環境への取組状況の把握 及び評価	4-01	環境への負荷の自己チェックシート	事業年度ごとに作成
		4-02	環境への取組の自己チェックリスト	初年度は必須、以降環境経営計画策定時に活用
5	環境関連法規等の取りまとめ	5-01	環境関連法規等の取りまとめ表／遵守評価記録	12項で順守状況のチェック記録として用いる
6	環境経営目標及び環境経営計画の策定	6-01	環境経営計画書	12項の取組状況の確認及び問題点の是正記録を兼ねる
7	実施体制の構築	—	実施体制図及び役割・責任・権限表(環境活動レポートに記載)	
8	教育・訓練の実施	8-01	環境教育訓練計画/実績記録表	
		8-02	環境教育・訓練記録	
9	環境コミュニケーションの実施	9-01	環境コミュニケーション記録	
10	実施及び運用	10-01	産業廃棄物管理手順書	
		10-02	〇〇手順書	
11	環境上の緊急事態への準備及び対応	11-01	火災対応手順書	
		11-02	油流出対応手順書	
		—	緊急事態試行・訓練記録(環境経営レポートに記録)	
12	文書類の作成・管理	12-01	環境関連文書・記録一覧表	
13	取組状況の確認・評価、並びに問題の是正 及び予防	13-01	問題点是正／予防処置票	
		13-02	環境関連法規等の取りまとめ表／遵守評価記録	
14	代表者による全体の評価と見直し・指示	—	環境経営レポートに記載	
—	環境経営レポートの作成	—	環境経営レポート	

文書類管理手順

①文書類には、日付を入れ、作成者・記入者名前を入れる	④文書類の保管:電子データは定期的にバックアップする
②文書類の保管場所:環境事務局	⑤文書を改訂(更新)した場合は改定・改訂・更新日を入れる
③記録の保管期間:3年 (法等で定めがある場合はそれに従う)	⑥廃止した文書は誤使用しないように識別して保管する

問題の是正（予防）処置報告書

承認	作成
寺元	岡本

確認日：2024年10月12日
報告書作成：2024年10月 1日

何が問題か（不適合）
1. 問題の種類 ☒ 環境目標、活動計画の未達成又は未達成が予想される場合。 ☐ 関連法規が守られていない又は行政機関よりの指摘があった。 ☐ その他（近隣からの苦情など）
2. 問題の内容 いつ：平成31年2月 誰が：全社員 どこで：全社 何が：ガソリンの使用量削減(ガソリン1L当りの走行距離) どうしたのか：12～2月連続で目標に達していない
3. 問題は顕在したのか、潜在しているのか ☐ 問題が実際に発生した ☐ 問題の発生が予測される ☒ 不明
4. 応急処置（可能な場合）：無し

原因は何か
1. 原因の調査 長距離運転する現場が少なく、 近隣での現場が多い為 エコドライブ推進が出来ていない
2. 再発防止策（是正処置：原因を除去する） エコドライブの推進を呼びかける。 アイドリングストップをつねに心がける ように呼びかける
3. 未然防止策（予防処置）が ☐ 必要 ☒ 不必要 必要の場合の内容

再発しないか
1. 是正処置の実施状況 全社員宛にメールでの呼びかけを行う

問題の是正（予防）処置報告書

承認	作成
寺元	岡本

確認日：2024年10月12日
報告書作成：2024年10月 1日

何が問題か（不適合）
1. 問題の種類 ☒ 環境目標、活動計画の未達成又は未達成が予想される場合。 ☐ 関連法規が守られていない又は行政機関よりの指摘があった。 ☐ その他（近隣からの苦情など）
2. 問題の内容 いつ：平成31年5月 誰が：全社員 どこで：全社 何が：ガソリンの使用量削減(ガソリン1L当りの走行距離) どうしたのか：12～5月連続で目標に達していない
3. 問題は顕在したのか、潜在しているのか ☐ 問題が実際に発生した ☐ 問題の発生が予測される ☒ 不明
4. 応急処置（可能な場合）：無し

原因は何か
1. 原因の調査 長距離運転する現場が少なく、 近隣での現場が多い為 エコドライブ推進が出来ていない 呼びかけているが、個々で出来ていない
2. 再発防止策（是正処置：原因を除去する） エコドライブの推進をさらに呼びかける。 アイドリングストップをつねに心がける ようにさらに呼びかける
3. 未然防止策（予防処置）が ☐ 必要 ☒ 不必要 必要の場合の内容

再発しないか
1. 是正処置の実施状況 朝礼で社長自ら呼びかけ及び、 全社員宛にメールでの呼びかけを行う